

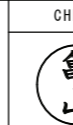
水産試験場空調設備改修工事（機械設備）

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮尺
M-0/22	表紙、図面リスト	--
1/22	機械設備工事特記仕様書（1）	--
2/22	機械設備工事特記仕様書（2）	--
3/22	配置図、附近見取図、概略工事工程表	1:400
4/22	冷暖房設備 機器表-1（改修後）	--
5/22	冷暖房設備 機器表-2（改修後）	--
6/22	冷暖房設備 1階平面図（改修後）	1:100
7/22	冷暖房設備 2階平面図（改修後）	1:100
8/22	冷暖房設備 R階平面図、R階平面詳細図（改修後）	1:30、1:100
9/22	冷暖房設備（二次側電気） 1階平面図（改修後）	1:100
10/22	冷暖房設備（二次側電気） 2、R階平面図（改修後）	1:100
11/22	空調設備 機器表-1（撤去）	--
12/22	空調設備 機器表-2（撤去）	--
13/22	空調設備 配管系統図（撤去）	--
14/22	空調・給水設備 1階配管平面図（撤去）	1:100
15/22	空調設備 2階配管平面図（撤去）	1:100
16/22	空調設備 機械室平面詳細図（撤去）	1:50
17/22	空調設備 R階平面図、R階平面詳細図（撤去）	1:30、1:100
18/22	空調設備 冷却塔廻り詳細図（撤去）	1:30
19/22	自動制御設備 1階平面図（撤去）	1:100
20/22	自動制御設備 2、R階平面図（撤去）	1:100
21/22	空調設備 1階ダクト平面図（既設参考）	1:100
22/22	空調設備 2階ダクト平面図（既設参考）	1:100

鳥取県
令和6年度
J2302937
総務部営繕課



有限会社 亀山設計
鳥取県米子市両三柳724番地11
一級建築士事務所 登録第05-1356号



縮尺 A2: --
設計年月日 R6.09

工事名称 水産試験場空調設備改修工事（機械設備）
図面名称 表紙、図面リスト

図面番号
M-0/22
NO

機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 境港市竹内団地

2 建物概要

Table with 6 columns: 番号, 建物名称, 構造, 階数, 建築基準法による延べ面積(m2), 消防法令別表第一の区分, 備考

3 工事種目 (印の付いたものが対象工事種目)

Table with 6 columns: 工事種目, 番号, 1, 2, 3, 4, 5, 屋外, 備考

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

Table with 2 columns: 項目, 設備概要

II. 特記仕様

1 一般事項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、印の付いたものによる。
(2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
(3) 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- (1) 項目は番号に印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は印の付いたものを適用する。
(3) 一般共通事項のうち() 項は、・建築 ・電気設備 工事特記仕様書による。

Table with 2 columns: 項目, 特記事項

一般共通事項

完成図等

他工事との取合

工事用水・電力・その他

表示板

足場

工所用仮設物

土工事

保温工事

Table with 3 columns: 区分, 名称, 部数

Table with 4 columns: 他工事との取合い, 建築, 電気設備, 機械設備

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。)

工事表示板 and 御通行中の皆様へ (Notice to Passers) diagrams and text.

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)の手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない (一般水櫃)
(ア) 埋め戻し土 ● 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()

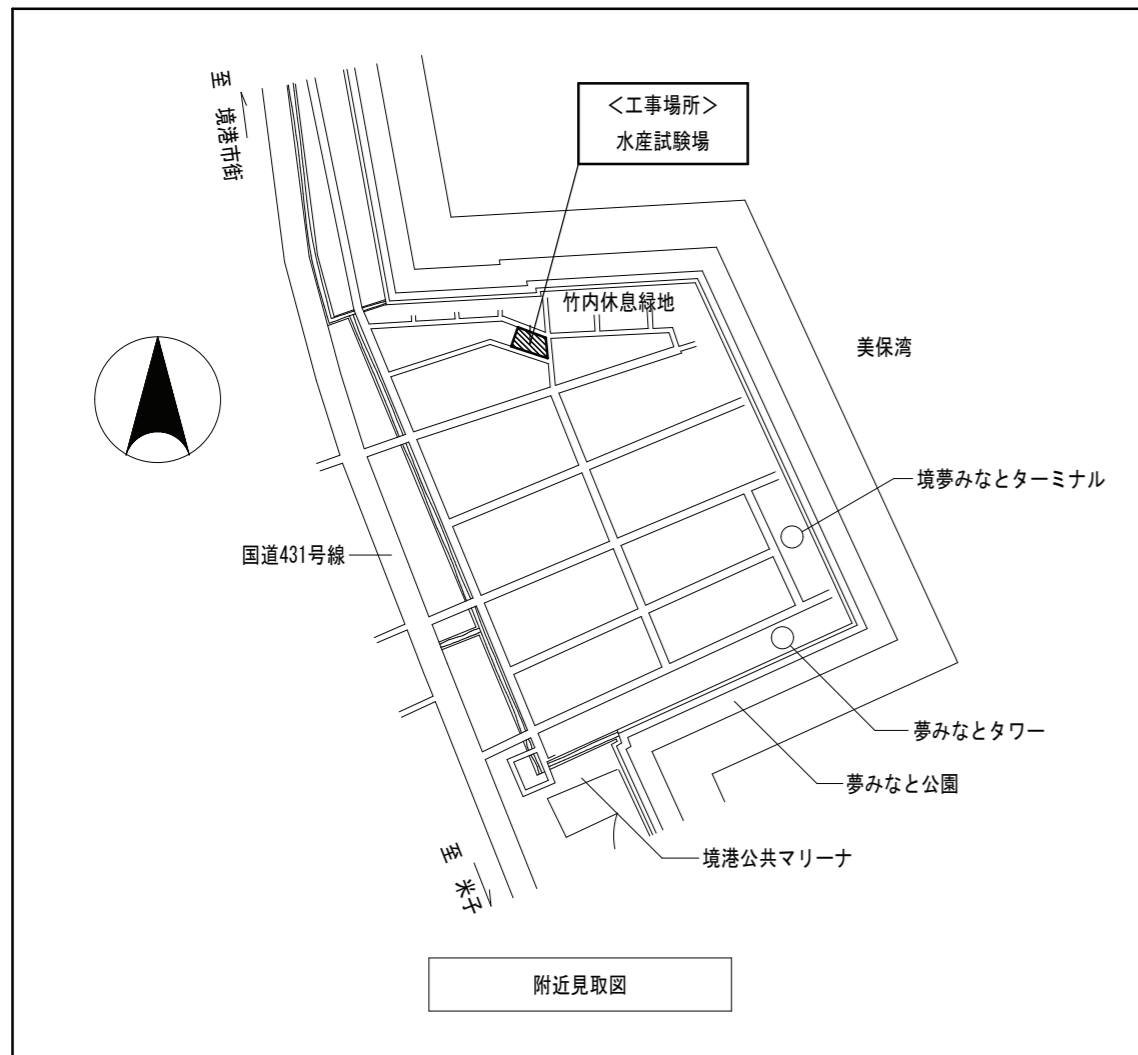
- (イ) 建設発生土処分 ● 構内に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積
● 冷水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● 保温チューブ (厚さ@) ●
● 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● 保温チューブ10t ●)
● 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ@) ●)
● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール25mm厚) する。
● 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ●)
屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板 ●)

技能士 (Skill Worker) license information and photo area.

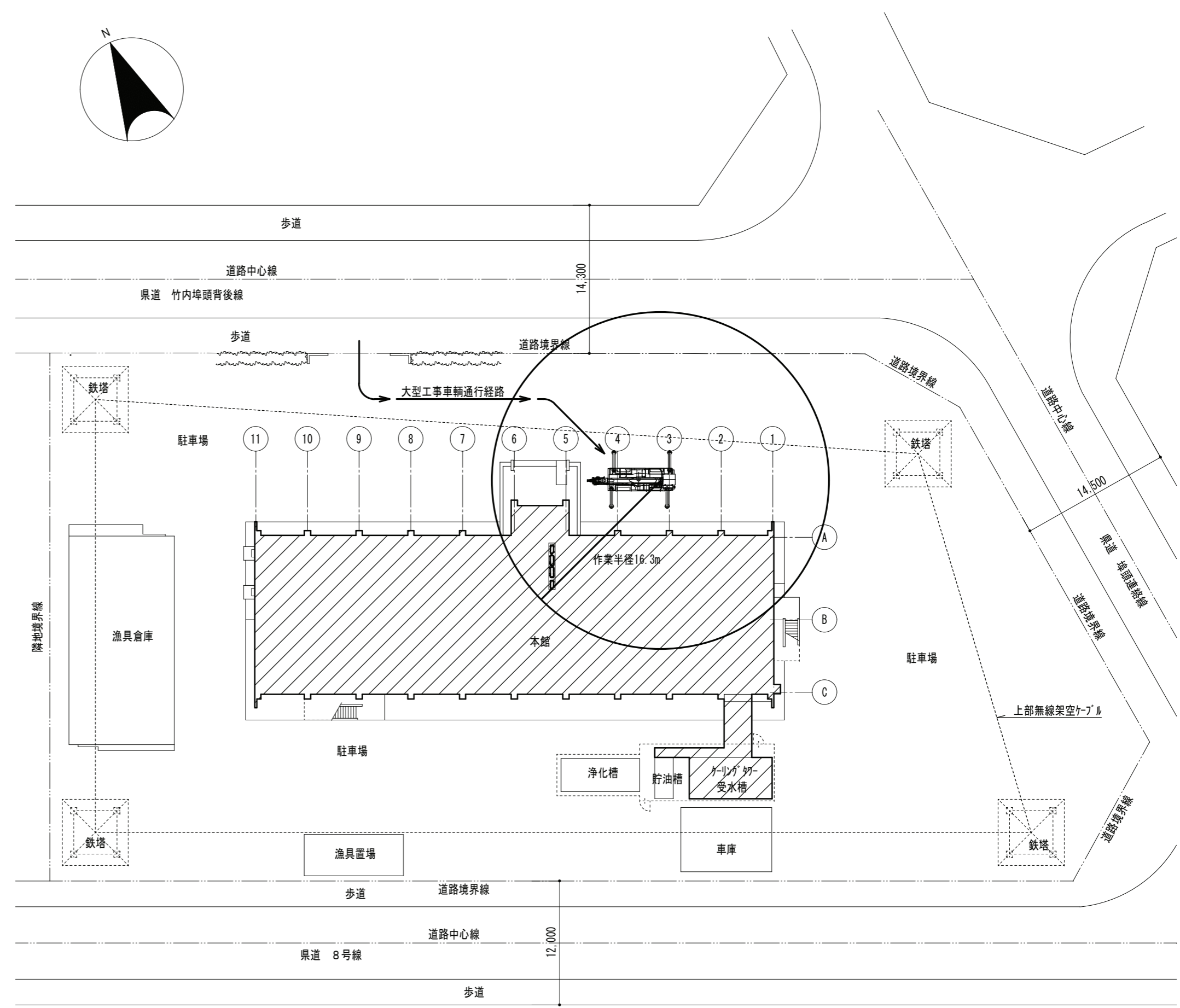
提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。

Table with 5 columns: 区分, 分類・規格, 撮影箇所, 部数, 電子データの提出





工事概要
【本館】
 ・空調を中央熱源方式から個別エアコン方式へ変更するのに伴い、不要となる機器等の撤去を行う。
 ・パッケージエアコン14組の新設及び既設パッケージエアコン5組の撤去・更新を行う。
 ・上記に伴い、電気設備改修を行う。(別途工事)



概略工事工程表

番号	名称	2024		2025		2025		2025		2025		2025		2025	
		15日	30日	15日	31日	15日	31日	15日	28日	15日	31日	15日	30日	15日	31日
	入札・契約														
I	機械設備工事														
	仮設・準備工事														
	冷暖房設備工事														
	配管・配線等工事・機器取付														
	機器・配管・配線等撤去														
	試験・各種検査														
	書類作成・片付け														
	完成検査														
II	電気設備工事														
	仮設・準備工事														
	動力設備														
	受変電設備														
	配管・配線等撤去														
	各種検査														
	書類作成・片付け														
	完成検査														

配置図 S=1:400 ※は、今回工事対象範囲を示す。



冷暖房機器表-1 (改修後)

記号	名称	仕様・付属品	数量	備考
PAC-1	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天井カセット 4方向吹出形 ツイン同時 112型 (4HP)	2	2階船員室、2階底魚資源室
(更新)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 11.2kW (5.6kW×2) (定格: 10.0kW)		本体参考寸法: 940W×320D×1080H(外)
	※既設冷媒配管再使用	暖房能力 12.5kW (6.3kW×2) (定格: 11.2kW)		参考重量: 70kg(外)
		定格消費電力 冷房: 2.99kW 暖房: 2.63kW		※参考圧縮機容量: 1.95kW
		圧縮機 3φ200V		※既設RC基礎再使用 (R階)
		付属品 ワイヤードリフト、標準化柱バネ×2、ドリルアッ×2、室外機転倒防止ワイヤ、 室外機据付用後打ちアッ×4、室外機用防振ゴム、他付属品共		
PAC-2	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天吊形 50型 (2HP)	1	2階恒温暗室
(更新)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 5.0kW (定格: 4.5kW)		本体参考寸法: 795W×300D×610H(外)
	※既設冷媒配管再使用	暖房能力 5.6kW (定格: 5.0kW)		参考重量: 37kg(外)
		定格消費電力 冷房: 1.45kW 暖房: 1.22kW		※参考圧縮機容量: 0.92kW
		圧縮機 3φ200V		※既設RC基礎再使用 (R階)
		付属品 ワイヤードリフト、冷媒用上向き配管ワット×2、室内機据付用アッ×4、室外機転倒防止ワイヤ、 室外機据付用後打ちアッ×4、室外機用防振ゴム、他付属品共		
PAC-3	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天吊形 80型 (3HP)	1	2階技術相談室
(更新)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 8.0kW (定格: 7.1kW)		本体参考寸法: 795W×300D×610H(外)
	※床置→天吊	暖房能力 9.0kW (定格: 8.0kW)		参考重量: 43kg(外)
		定格消費電力 冷房: 2.05kW 暖房: 2.15kW		※参考圧縮機容量: 1.7kW
		圧縮機 1φ200V		緑石基礎 600×150×150H×2
		付属品 ワイヤードリフト、室内機据付用アッ×4、室外機転倒防止金具、 室外機用鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、架台据付用後打ちアッ×4、他付属品共		
PAC-4	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天吊形 80型 (3HP)	2	2階浮魚資源室、2階会議室
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 8.0kW (定格: 7.1kW)		本体参考寸法: 795W×300D×610H(外)
		暖房能力 9.0kW (定格: 8.0kW)		参考重量: 43kg(外)
		定格消費電力 冷房: 2.05kW 暖房: 2.15kW		※参考圧縮機容量: 1.7kW
		圧縮機 3φ200V		緑石基礎 600×150×150H×2
		付属品 ワイヤードリフト、冷媒用上向き配管ワット、ドリルアッ×2、室内機据付用アッ×4、 室外機転倒防止金具、室外機用鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、 架台据付用後打ちアッ×4、他付属品共		
PAC-5	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天吊形 80型 (3HP)	1	1階資源利用試験室(水槽室)
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 8.0kW (定格: 7.1kW)		本体参考寸法: 795W×300D×610H(外)
		暖房能力 9.0kW (定格: 8.0kW)		参考重量: 43kg(外)
		定格消費電力 冷房: 2.05kW 暖房: 2.15kW		※参考圧縮機容量: 1.7kW
		圧縮機 3φ200V		※PAC-9と共用で2段架台
		付属品 ワイヤードリフト、冷媒用上向き配管ワット、ドリルアッ×2、室内機据付用アッ×4、 室外機転倒防止金具、他付属品共		
PAC-6	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天吊形 112型 (4HP)	1	2階小会議室
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 11.2kW (定格: 10.0kW)		本体参考寸法: 940W×320D×1080H(外)
		暖房能力 12.5kW (定格: 11.2kW)		参考重量: 70kg(外)
		定格消費電力 冷房: 3.04kW 暖房: 3.11kW		※参考圧縮機容量: 1.95kW
		圧縮機 3φ200V		緑石基礎 600×150×150H×2
		付属品 ワイヤードリフト、冷媒用上向き配管ワット、ドリルアッ×2、室内機据付用アッ×4、 室外機転倒防止金具、室外機用鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、 架台据付用後打ちアッ×4、他付属品共		

記号	名称	仕様・付属品	数量	備考
PAC-7	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天吊形 ツイン同時 112型 (4HP)	1	1階生物実験前処理室
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 11.2kW (5.6kW×2) (定格: 10.0kW)		本体参考寸法: 940W×320D×1080H(外)
		暖房能力 12.5kW (6.3kW×2) (定格: 11.2kW)		参考重量: 70kg(外)
		定格消費電力 冷房: 3.04kW 暖房: 3.11kW		※参考圧縮機容量: 1.95kW
		圧縮機 3φ200V		緑石基礎 600×150×150H×2
		付属品 ワイヤードリフト、冷媒用上向き配管ワット×2、冷媒分岐管、室内機据付用アッ×8、 室外機転倒防止金具、室外機用鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、 架台据付用後打ちアッ×4、他付属品共		
PAC-8	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天吊形 ツイン同時 112型 (4HP)	2	1階生物精密測定実験室、2階会議室
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 11.2kW (5.6kW×2) (定格: 10.0kW)	(将来工事)	
		暖房能力 12.5kW (6.3kW×2) (定格: 11.2kW)	(2)	※1階機器保管室、2階図書室
		定格消費電力 冷房: 3.04kW 暖房: 3.11kW		本体参考寸法: 940W×320D×1080H(外)
		圧縮機 3φ200V		参考重量: 70kg(外)
		付属品 ワイヤードリフト、冷媒用上向き配管ワット×2、ドリルアッ×2、冷媒分岐管、 室内機据付用アッ×8、室外機転倒防止金具、室外機用鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、 架台据付用後打ちアッ×4、他付属品共		※参考圧縮機容量: 1.95kW
				緑石基礎 600×150×150H×2
PAC-9	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天吊形 ツイン同時 112型 (4HP)	1	1階第2生物実験室
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 11.2kW (5.6kW×2) (定格: 10.0kW)		本体参考寸法: 940W×320D×1080H(外)
		暖房能力 12.5kW (6.3kW×2) (定格: 11.2kW)		参考重量: 70kg(外)
		定格消費電力 冷房: 3.04kW 暖房: 3.11kW		※参考圧縮機容量: 1.95kW
		圧縮機 3φ200V		※PAC-5と共用で2段架台
		付属品 ワイヤードリフト、冷媒用上向き配管ワット×2、冷媒分岐管、室内機据付用アッ×8、 室外機転倒防止金具、他付属品共		
PAC-10	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天吊形 ツイン同時 160型 (6HP)	1	2階化学実験室
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 16.0kW (8.0kW×2) (定格: 14.0kW)		本体参考寸法: 940W×320D×1080H(外)
		暖房能力 18.0kW (9.0kW×2) (定格: 16.0kW)		参考重量: 71kg(外)
		定格消費電力 冷房: 5.71kW 暖房: 4.7kW		※参考圧縮機容量: 3.08kW
		圧縮機 3φ200V		緑石基礎 600×150×150H×2
		付属品 ワイヤードリフト、冷媒用上向き配管ワット×2、ドリルアッ×2、冷媒分岐管、 室内機据付用アッ×8、室外機転倒防止金具、室外機用鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、 架台据付用後打ちアッ×4、他付属品共		
PAC-11	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 天吊形 ツイン同時 224型 (8HP)	1	1階資源利用試験室(実験室)
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 22.4kW (11.2kW×2) (定格: 20.0kW)		本体参考寸法: 940W×320D×1430H(外)
		暖房能力 25.0kW (12.5kW×2) (定格: 22.4kW)		参考重量: 109kg(外)
		定格消費電力 冷房: 6.31kW 暖房: 5.56kW		※参考圧縮機容量: 4.61kW
		圧縮機 3φ200V		緑石基礎 600×150×150H×2
		付属品 ワイヤードリフト、冷媒用上向き配管ワット×2、冷媒分岐管、室内機据付用アッ×8、 室外機転倒防止金具、室外機用鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、 架台据付用後打ちアッ×4、他付属品共		
PAC-12	空冷ヒートポンプハットアップエアコン	形式 壁掛形 45型 (1.8HP)	1	2階休憩室
(更新)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 4.5kW (定格: 4.0kW)		本体参考寸法: 795W×300D×610H(外)
	※既設冷媒配管再使用	暖房能力 5.0kW (定格: 4.5kW)		参考重量: 37kg(外)
		定格消費電力 冷房: 1.31kW 暖房: 1.33kW		※参考圧縮機容量: 0.78kW
		圧縮機 1φ200V		※既設RC基礎再使用 (R階)
		付属品 ワイヤードリフト、室外機転倒防止ワイヤ、室外機据付用後打ちアッ×4、室外機用防振ゴム、 他付属品共		



冷暖房機器表-2 (改修後)

記号	名称	仕様・付属品	数量	備考
PAC-13	空冷ヒートポンプ冷暖房	形式 壁掛形 ツイン同時 80型 (3HP)	2	1階事務室、1階場長室
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 8.0kW (4.0kW×2) (定格: 7.1kW)		本体参考寸法: 795W×3000×610H(外)
		暖房能力 9.0kW (4.5kW×2) (定格: 8.0kW)		参考重量: 43kg(外)
		定格消費電力 冷房: 2.24kW 暖房: 2.46kW		※参考圧縮機容量: 1.7kW
		圧縮機 3φ200V		緑石基礎 600×150×150H×2
		付属品 7/4"ドリフト、冷媒分岐管、ドレンアップ×2、室外機転倒防止金具、 室外機用鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、架台据付用後打ち7か×4、他付属品共 ※室内機のドレンアップ側にて、冷媒配管共露出立上げのこと。		
PAC-14	空冷ヒートポンプ冷暖房	形式 壁掛形 ツイン同時 140型 (5HP)	1	1階第1生物実験室
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 14.0kW (7.1kW×2) (定格: 12.5kW)		本体参考寸法: 940W×3200×1080H(外)
		暖房能力 16.0kW (8.0kW×2) (定格: 14.0kW)		参考重量: 71kg(外)
		定格消費電力 冷房: 4.57kW 暖房: 4.51kW		※参考圧縮機容量: 2.45kW
		圧縮機 3φ200V		緑石基礎 600×150×150H×2
		付属品 7/4"ドリフト、冷媒分岐管、ドレンアップ×2、室外機転倒防止金具、 室外機用鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、架台据付用後打ち7か×4、他付属品共 ※室内機のドレンアップ側にて、冷媒配管共露出立上げのこと。		
PAC-15	空冷ヒートポンプ冷暖房	形式 壁掛形 フォー同時 280型 (10HP)	1	1階情報公開室
(新設)	(耐重塩害仕様)	冷房能力 28.0kW (7.1kW×4) (定格: 25.0kW)		本体参考寸法: 940W×3200×1430H(外)
		暖房能力 31.5kW (8.0kW×4) (定格: 28.0kW)		参考重量: 120kg(外)
		定格消費電力 冷房: 11.8kW 暖房: 9.21kW		※参考圧縮機容量: 5.95kW
		圧縮機 3φ200V		緑石基礎 600×150×150H×2
		付属品 7/4"ドリフト、冷媒分岐管、ドレンアップ×4、室外機転倒防止金具、 室外機用鋼製架台300H(溶融亜鉛メッキ仕上げ)、架台据付用後打ち7か×4、他付属品共 ※室内機のドレンアップ側にて、冷媒配管共露出立上げのこと。		
	エアコン室外機用架台	溶融亜鉛メッキ仕上げ、2段平架台、架台据付用後打ち7か×4、他付属品共	1	(PAC-5+PAC-9用)

※エアコンは、グリーン購入法調達基準、省エネ法調達基準適合品とする。
 ※表中の電気容量は製造者を特定しない。メーカー推奨の電線サイズ、遮断器容量を電気設備工事と情報共有すること。
 ※パッケージエアコンの冷暖房能力は、JIS条件時の定格能力(最大時)を示す。
 ※備考欄の参考圧縮機容量は、図面番号M-1、II-2. 一般共通事項9の記載によらず参考とする。
 ※エアコンの機種選定において、高調波抑制対策指針の適用対象となる場合は、高調波流出電流計算書上の換算係数 $K_i = 1.8$ 以下の機器を選定すること。
 ※高調波対策は、キュービクル内にて別途電気工事で行うため、室外機にはアクティブフィルタは設置しないこととしている。
 但し、現場にて再度確認の上、施工を行うこと。

特記事項 (改修後共通)

- ※ は、既設配管等を示す。
- ※図中 は、既設管への接続部を示す。
- ※図中 範囲内は、別途将来工事とし、本工事には含まない。
- ※図中 は、既設躯体の天井内梁を示す。
- ※図中 は、既設天井点検口(450×450)を示す。(図中「※600」は、600×600を示す。)
- ※図中 は、新設天井点検口(450×450)を示す。図中「※600」は、600×600を示し、2階天井内仮設物搬入用とする。(開口部下地補強共) 既設天井材が石綿セメント板の箇所は天井点検口を新設する場合の新設天井材は、ケイカル板5t(EP塗り)とすること。
- ※図中 は、別図撤去図参照のこと。
- ※図中 は、既設貫通部再使用箇所を示す。
- ※図中 は、壁・天井の穴開け補修部を示す。(仕上げ補修共)
- ※図中 は、既設天井材取外し・再取付(450×900程度)箇所を示す。

※施工に先立ち、既設各配管・ダクト等のサイズ・ルート、システム及び現在の運用方法を事前確認した上で施工すること。
 ※図中冷媒配管口径は製造者を特定しないものとし、参考とする。
 ※室外機への一次側電源は、電気設備工事とする。(別途工事)
 ※既設壁等の貫通は、鉄筋位置を調査の上行うこと。既設梁の貫通は不可とする。(鉄筋切断となる場合は、監督員と打合せのこと。)
 1、2階(A)・(C) 通りの梁が腰壁まで上がっているため、既設図面を確認の上、注意して施工を行うこと。
 ※天井内等で既設配管等の支障により、新設配管が困難な場合は不要となる既設配管の撤去または露出配管への変更を検討し、現場にて監督員と協議すること。
 ※今回の改修にあたり、既設冷媒配管の再利用が可能(冷凍機油、分岐管、配管サイズ、配管長等の適合等)を採用メーカーに確認して施工すること。
 採用メーカーの基準等により、今回の設計内容以外で工事が発生する場合(冷媒管洗浄、分岐管取り替え、冷媒管改修等)は、受注者負担とする。
 ※屋内外の新設露出冷媒管には、樹脂製保温化粧ケース施工のこと。図中の保温化粧ケースサイズは、参考とする。
 ※既設冷媒管保温外装は部分的にスリムダクトUDが使用されている箇所があるが廃盤であるため、新設部は採用メーカーにより現行品を確認の上、施工を行うこと。
 ※原則として冷媒管と並ぶ屋内外露出ドレン管は、冷媒管と共に樹脂製保温化粧ケース内配管とする。
 ※屋外露出のドレン管は、カラーVPとする。
 ※既設ドレン管に詰まり等がないか確認し、発見された場合は監督員へ報告を行うこと。
 ※新設するエアコンは、必要に応じて冷媒の追加充填を行うこと。
 ※室内機据付用アンカーボルトは、原則として打ち直すこと。アンカー位置が近く、再使用可能な場合は監督員と協議の上、再使用して良い。
 ※機器・配管設置用の天井吊り長さが長く、振れ止めが必要な場合は、必要に応じて振れ止め金具を設置すること。
 ※各室内機の既設吊り金物に振れ止めが必要と思われる箇所があった場合は、監督員と協議を行うこと。
 ※天吊形室内機は配管・メンテナンススペースを取った上で、できる限り壁側に設置すること。
 ※採用メーカーにより、室外機用据付アンカーボルトの計算を行って機器を設置すること。(緑石基礎部分を除く。)
 ※アンカーボルトを打ち替える場合の既設・新設のボルト間隔及び既設RC基礎端部からのへり空き寸法に注意して施工すること。
 ※室外機設置位置については、監督員・発注者と協議し、採用メーカーの据付条件を確認の上決定すること。
 また、窓の開閉に極力支障のない様、開き勝手等確認の上、室外機位置を決定すること。
 ※基礎コンクリートは、JIS A 5308 (レディー・ミクスコンクリート) への適合を認証されたI類コンクリートを使用し、現場練りは禁止とする。
 ※熱感知器の誤作動が起きない様、開き勝手等確認の上、各室の既設感知器位置を確認し、別途電気設備工事と打合せの上施工すること。
 ※必要箇所には、本工事に足場等を設置し、安全に施工を行うこと。
 ※2階の天井機が高いため、天井内にて安全に作業が出来る様、必要に応じて天井内に仮設物を設置し、注意して施工すること。
 ※既設エアコン同等能力で機器を更新する部屋の総合試運転調整(温度測定)は、参考値とする。
 ※研究機器等に埃や粉塵が付かないよう養生し、作業終了後は必要に応じて清掃を行うこと。
 ※工事の支障となる研究機器・備品の移設・再設置は、別途施設側工事とする。
 ※既存建物を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、必要に応じて仮設を行い、既設設備を十分確認して施工すること。
 また、冷暖房を停止できる期間を施設側と協議し、工事時期を調整して施工すること。

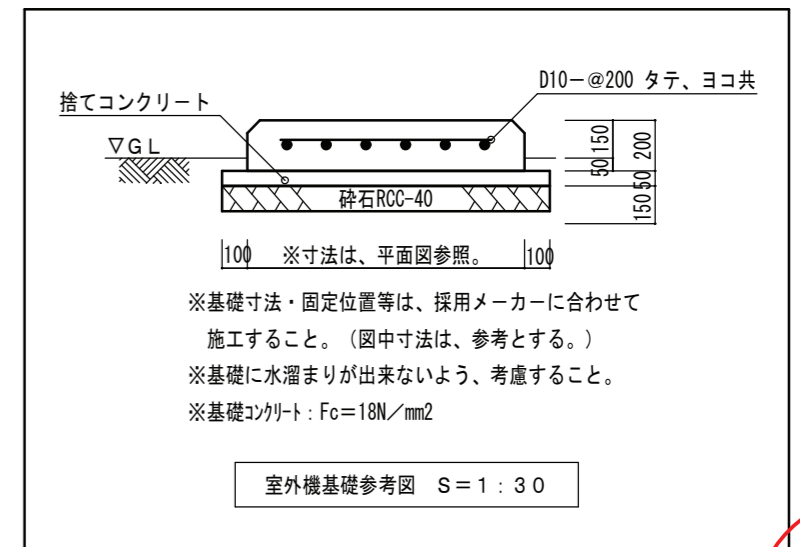
保温材質

- 排水管 天井内 グラスウール + アルミガラスクロス化粧箱
- 排水管 屋内露出 グラスウール + 合成樹脂製カバー (ファインカバー)
(※図中、樹脂製保温化粧ケース内は保温チューブ10tとする。)

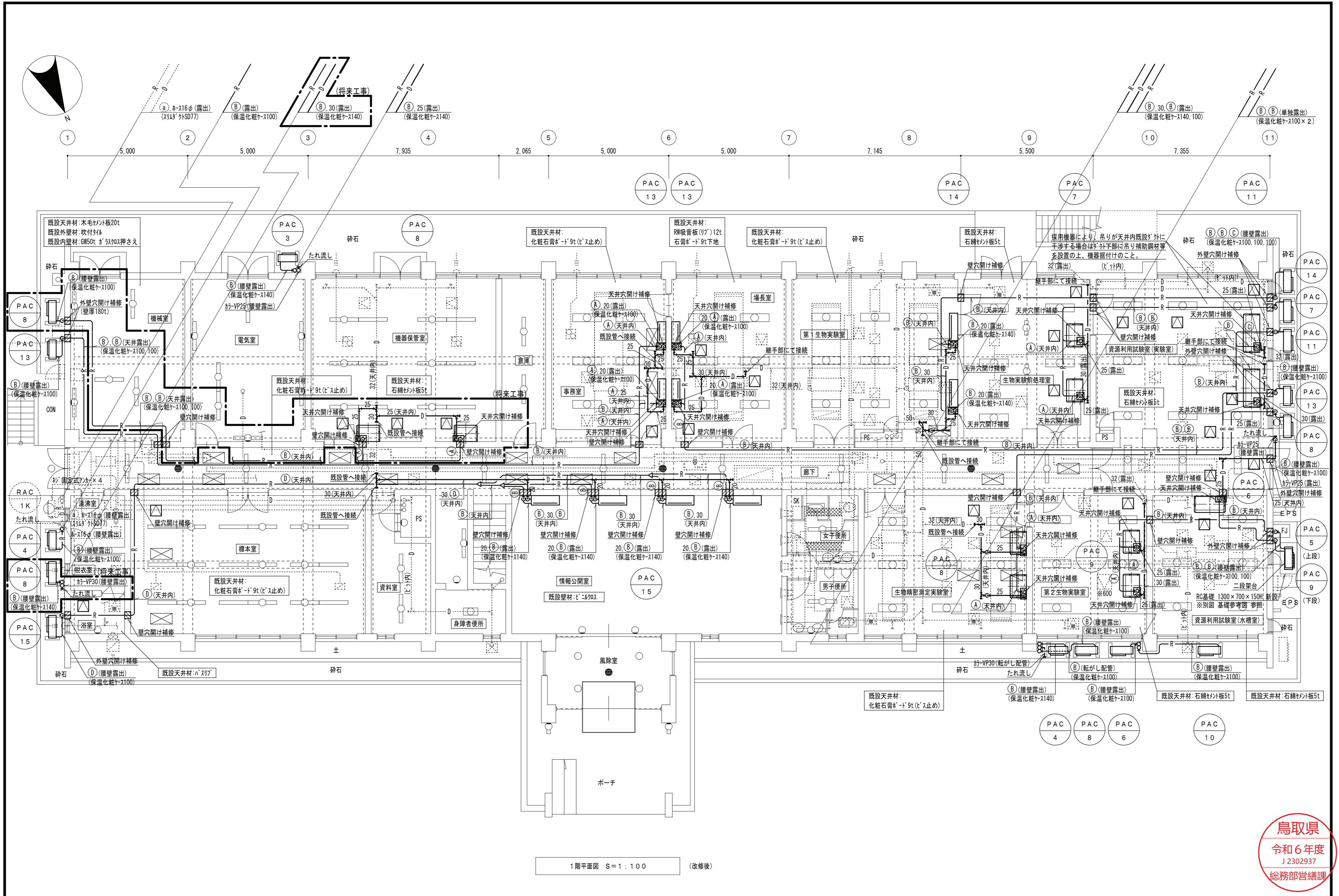
冷媒管サイズ表

記号	液管	ガス管
A	6.4φ	12.7φ
B	9.5φ	15.9φ
C	9.5φ	25.4φ
D	12.7φ	25.4φ
a	6.4φ	9.5φ




※保温厚: 液管10mmt、ガス管20mmt

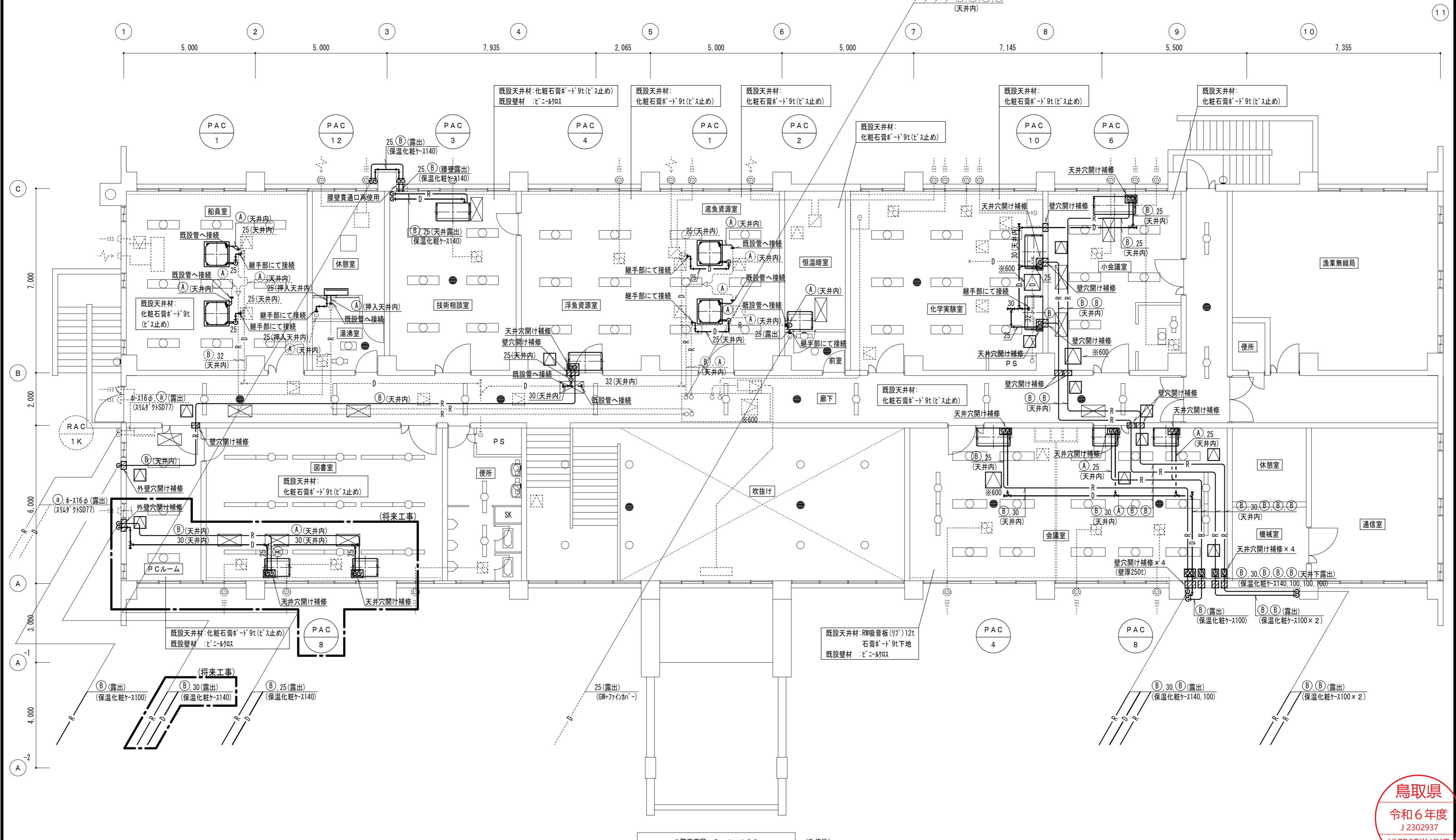
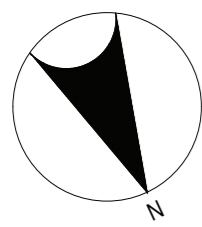


鳥取県
 令和6年度
 J2302937
 総務部営繕課






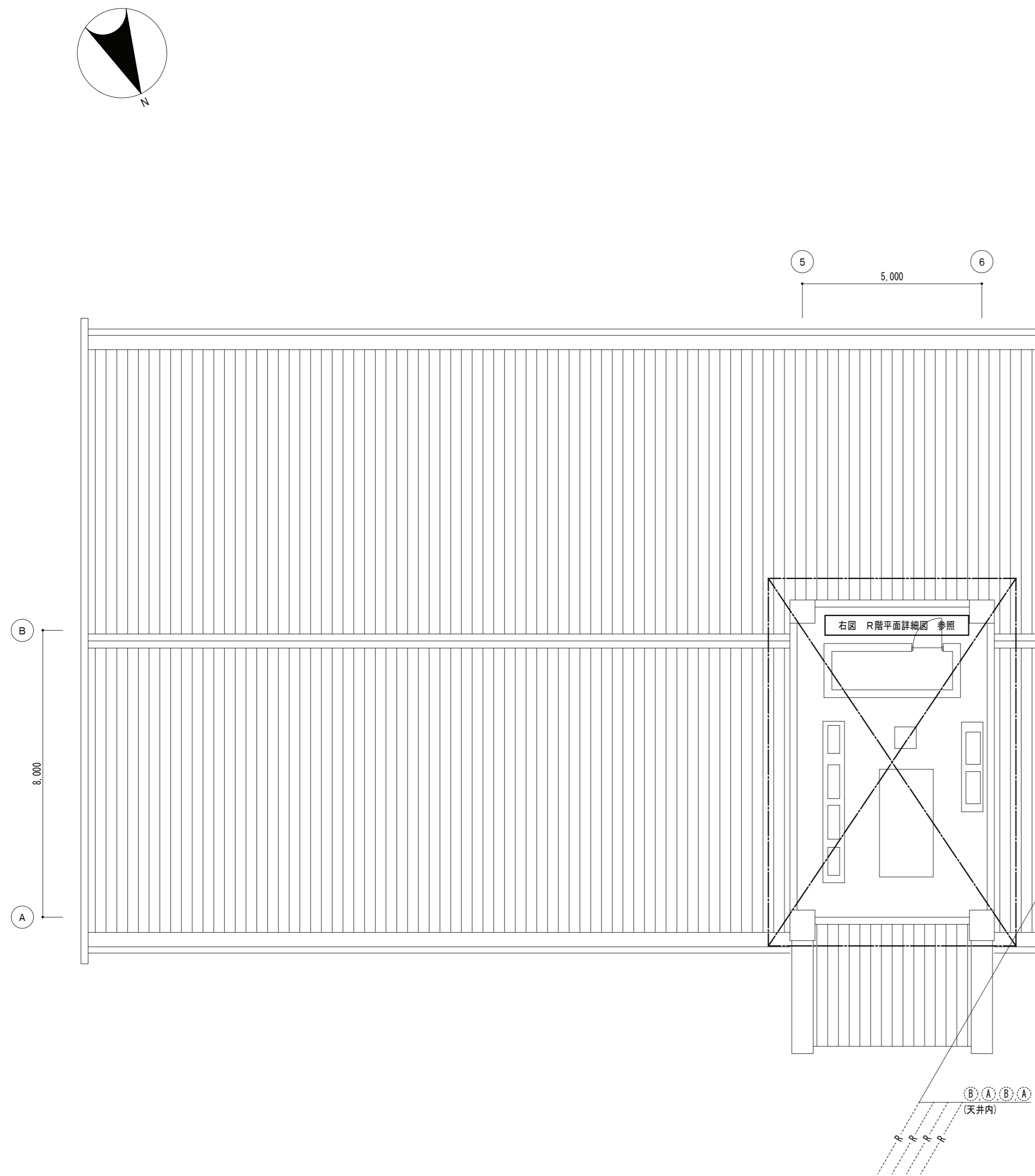
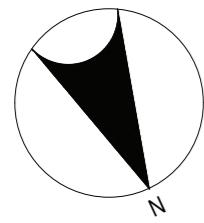
鳥取県
令和6年度
J 2302937
総務部営繕課

 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK 	DRAWING 	縮尺 A2: 1:100 設計年月日 R6.09	工事名称 水産試験場空調設備改修工事(機械設備) 図面名称 冷暖房設備 1階平面図(改修後)	図面番号 M-6/22 NO
	1階平面図 S=1:100 (改修後)				

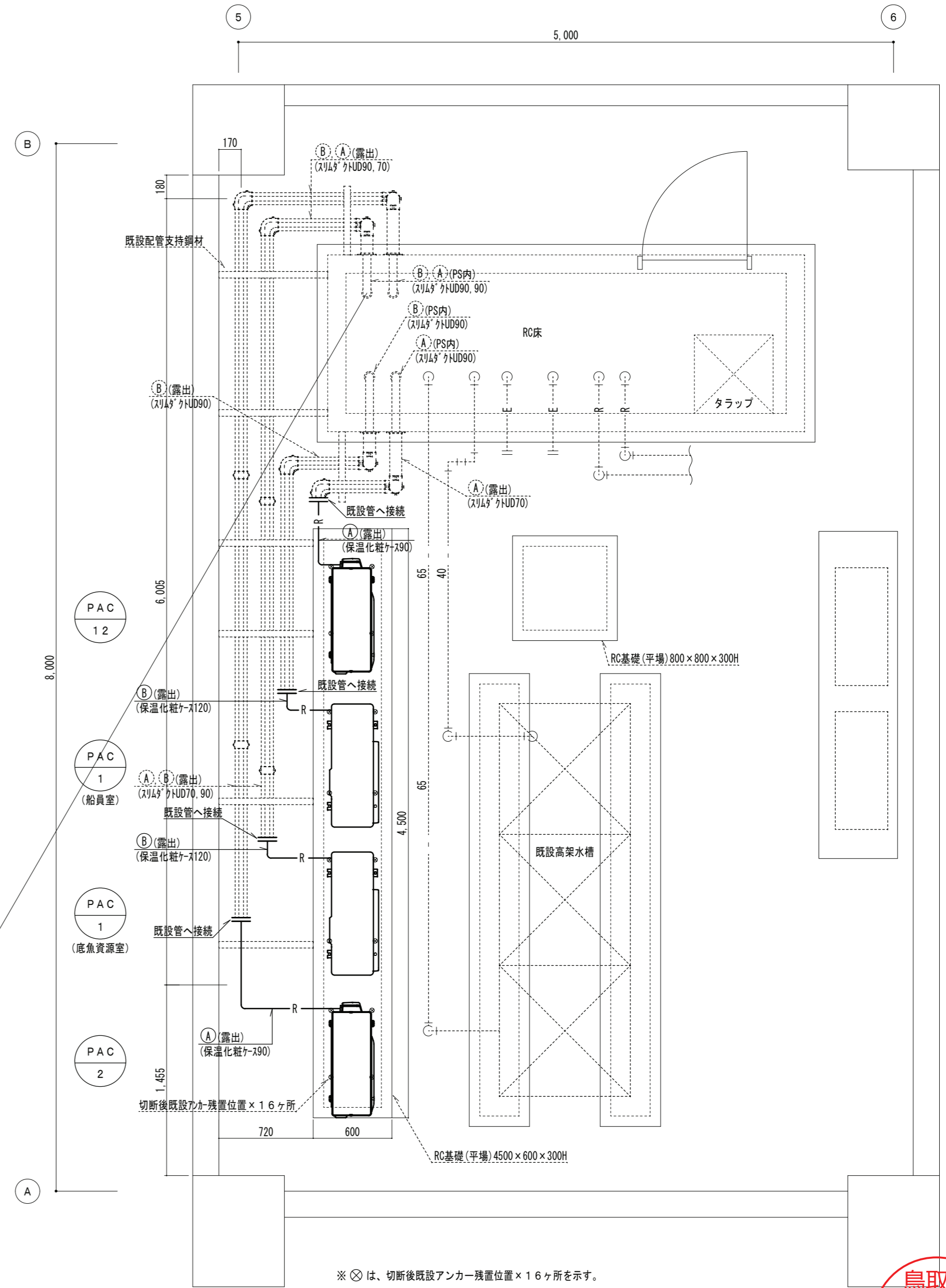


鳥取県
令和6年度
J2302937
総務部営繕課

 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK 	DRAWING 	縮尺 A2: 1:100 設計年月日 R6.09	工事名称 水産試験場空調設備改修工事(機械設備) 図面名称 冷暖房設備 2階平面図(改修後)	図面番号 M-7/22 NO
	2階平面図 S=1:100 (改修後)				






R階平面図 S=1:100 (改修後)

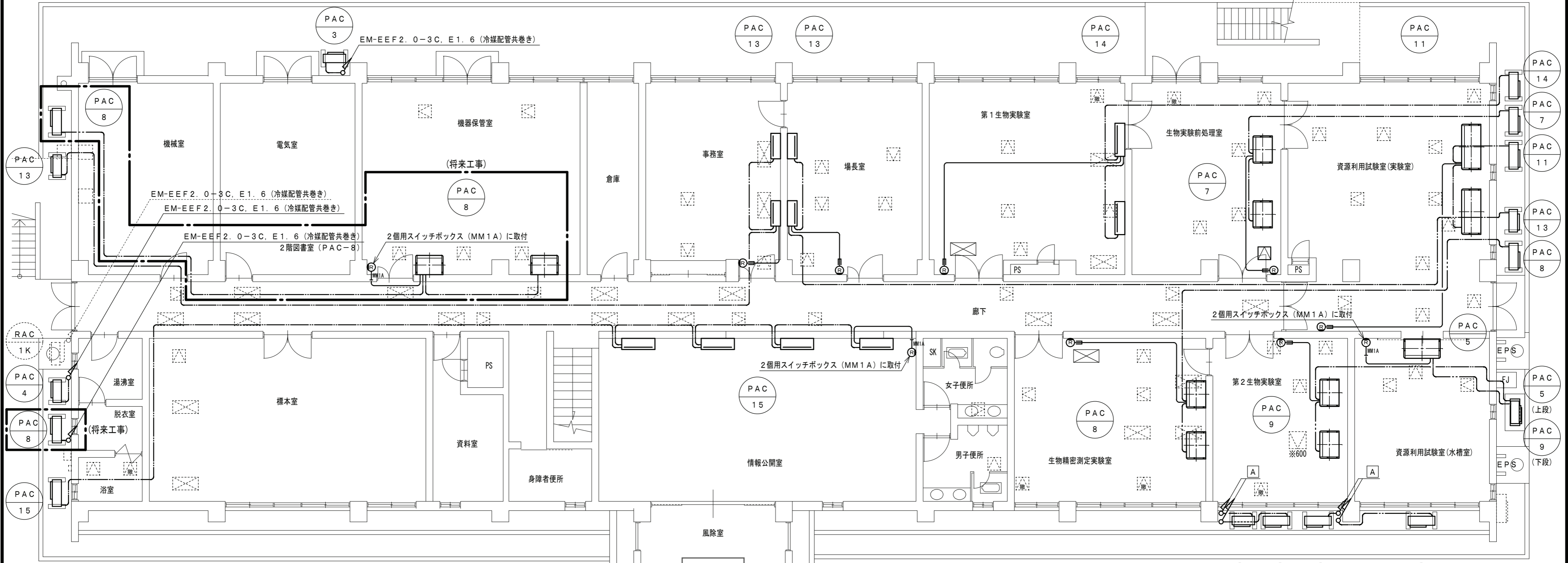
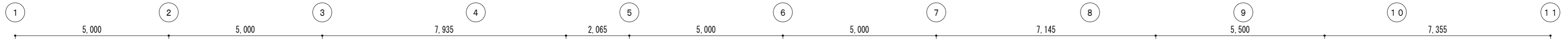
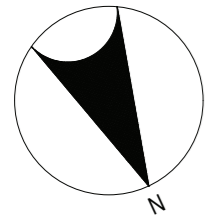


R階平面詳細図 S=1:30 (改修後)

※ ⊗ は、切断後既設アンカー残置位置×16ヶ所を示す。
 ※改修後の保温化粧ケースが配管共の自重により屈折し下がらない様、注意して施工すること。

鳥取県
 令和6年度
 J2302937
 総務部営繕課

 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK	DRAWING	縮尺 A2: 1:30, 1:100	工事名称 水産試験場空調設備改修工事(機械設備)	図面番号 M-8/22
			設計年月日 R6.09	図面名称 冷暖房設備 R階平面図、R階平面詳細図(改修後)	NO



特記 (改修図面共通)

1. 図中記入なき配線は、下記による。
 — EM-EEF2.0-3C, E1.6 冷媒配管共巻き (内外渡り配線)
 — EM-MEES0.5[□]-2C 天井内 (リモコン配線)
2. 図中 範囲内は、別途将来工事とし、本工事には含まない。
3. 図中太線部分は本工事部分を示し、細線点線部分は既設部分を示す。
4. ファンコイルユニット用スイッチ撤去後、同じ位置にエアコン用リモコンスイッチを取り付けること。
 新設するリモコン配線は、壁内既設配管 (E25) へ入線すること。(図中 印部分)
5. 図中 印部分は、立下部分メタルモールA型を示す。
6. 図中の二次側電気工事の仕様は、製造者を特定しないものとし、参考とする。
7. 内外渡り配線とリモコン配線を共に冷媒配管共巻きにする際に、接触しないよう注意して施工すること。
8. 施設を使用しながらの工事であるため、騒音・粉塵等に十分配慮し、既設設備を十分確認して、施設の運用支障を来さないよう施工すること。

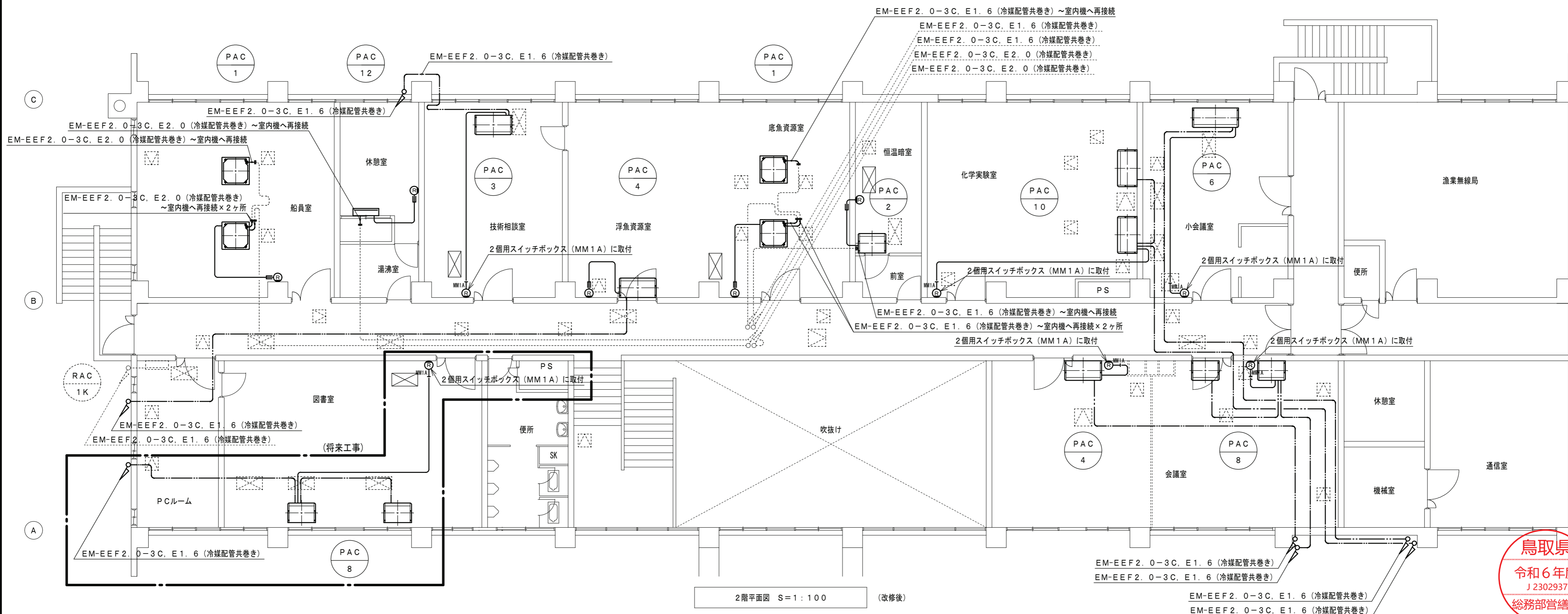
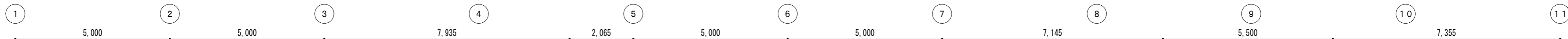
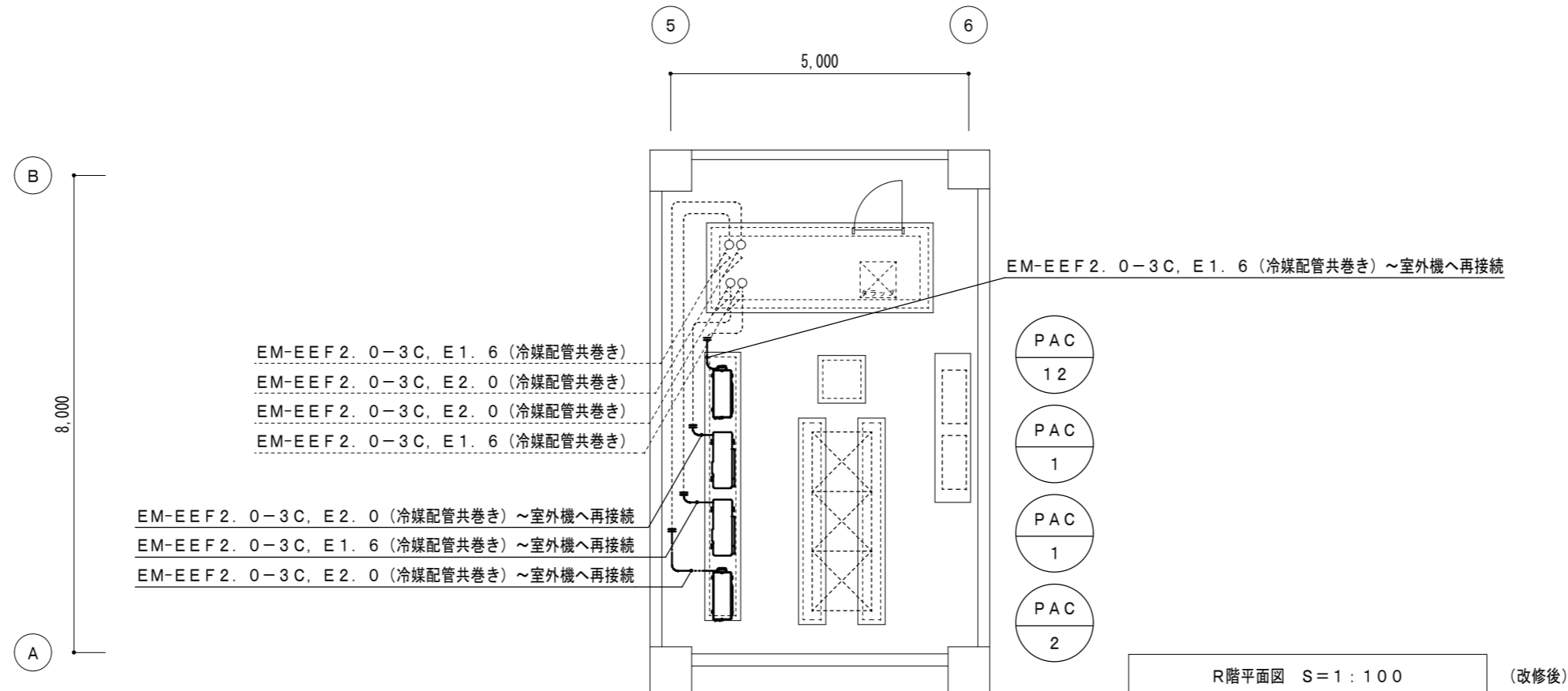
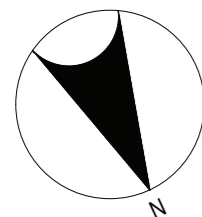
A
EM-EEF2.0-3C, E1.6 (冷媒配管共巻き) × 2

凡例

記号	名称	備考
Ⓜ	ワイヤードリモコン	
Ⓜ	天井点検口	450 [□] (点線細線のシンボルは、既設及び本図面以外設置点検口を示す)
Ⓜ	既設天井仕上材取外し・再取付	450×900 化粧石膏ボード9t びし止め (点線細線のシンボルは、本図面以外取外し・再取付を示す)

1階平面図 S=1:100 (改修後)





有限会社 亀山設計
鳥取県米子市両三柳724番地11
一級建築士事務所 登録第05-1356号

CHECK
DRAWING
亀山 木村

縮尺 A2: 1:100
設計年月日 R6.09

工事名称 水産試験場空調設備改修工事(機械設備)
図面名称 冷暖房設備(二次側電気) 2、R階平面図(改修後)

図面番号 M-10/22
NO

特記事項

※表中 // は、撤去部を示す。
 ※(残置)表記部は、不要な機器を示しそのまま残置とする。
 ※既設機器能力は現場にて再確認し、機器表と異なる場合は、監督員へ報告する事。

空調機器表-1 (撤去)

記号	名称	仕様・附属品	台数	備考
RB-1 (撤去)	吸収式冷凍機	二重効用、屋内型、暖房特仕仕様、灯油焚、冷房能力4.0USRT 冷房能力:120,860kcal/h、暖房能力:126,100kcal/h、消費電力:2.3kW(3φ200V) 冷水:入口温度12.0℃、出口温度7.0℃、流量2.5m ³ /h 温水:入口温度5.0℃、出口温度5.5℃、流量2.5m ³ /h 冷却水:入口温度32.0℃、出口温度37.5℃、流量4.0m ³ /h 燃料消費量:18.0L/h 付属品:過熱機作監視盤(週間リセット付)、感震器、他付属品共 ※断熱材、排気筒取付ボルト用パッキン及び内部各所等にはアスベストが含まれている可能性が高いため、法令を遵守し適切に撤去すること。(メーカーに確認済み) ※吸収液はメーカー引取りによるリサイクル処理のこと。	1	設置場所:1階機械室 品番:DMH-40H(II重効用工業) 設置年数:1989年 本体寸法:2320×1120×1780H 参考重量:2700kg
CT-1 (撤去)	冷却塔	型式:密閉型、超低騒音型、角型、FRP製 ※特別耐塩害仕様 冷却能力:272.1kW 冷却水量:780L/min(入口温度37.0℃、出口温度32.0℃、外気温度27℃WB) 送風機:3.7kW(3φ200V)、散水ポンプ:1.5kW(3φ200V) 付属品:吐出騒音45(消音内張付)、他付属品共 ※内部各所(冷却水配管と本体接続フランジ周囲、散水配管と本体接続フランジ周囲、散水配管銅コイルとヘッダー接続部×3ヶ所、槽内鋼材接合部ボルト用パッキン×12ヶ所)にはアスベストが含まれているため、法令を遵守し適切に撤去すること。(メーカーに確認済み)	1	設置場所:屋外 品番:KMP-60S(空研工業) 設置年数:2005年 本体寸法:3030L×1670W×2500H 参考重量:1260kg
PCD-1 (撤去)	冷却水ポンプ	型式:片吸込渦巻型 能力:8.0φ×6.5φ×7.08L/min×2.0m×5.5kW(3φ200V) 付属品:0V、0V、P6×2、FJ、X7リリク式防振架台、他付属品共	1	設置場所:1階機械室 品番:80×65F54H65.8E(荏原製作所) 設置年数:2023年(12332029A6) 本体寸法:918×392×480H 参考重量:129kg
PCH-1 (撤去)	冷却水ポンプ	型式:片吸込渦巻型 能力:6.5φ×5.0φ×4.20L/min×2.0m×3.7kW(3φ200V) 付属品:0V、0V、P6×2、FJ、X7リリク式防振架台、他付属品共 ※グランドパッキンにはアスベストが含まれているため、法令を遵守し適切に撤去・処分をすること。(メーカーに確認済み)	1	設置場所:1階機械室 品番:65×50F54H63.7(荏原製作所) 設置年数:1989年 本体寸法:797×340×410H 参考重量:81kg
ET-1 (撤去)	膨張タンク	型式:SUS製 容量:1.00L 付属品:鋼製架台500H(L-40×40×5)、他付属品共	1	設置場所:屋上 品番:TE-100 設置年数:1989年 本体寸法:610×610×580H 参考重量:58kg
OT-1 ※廃止済み(残置)	地下オイルタンク	型式:鋼製一重殻、灯油用 容量:1000L	(1)	設置場所:屋外 設置年数:1989年 本体寸法:750φ×2300L×4.5t
OT-2 (撤去)	オイルタンク	型式:縦置式、鋼板製 容量:450L 付属品:鋼780H、他付属品共	1	設置場所:1階機械室 品番:KS2-500(青森工業) 設置年数:1989年 本体寸法:1260×525×830H 参考重量:73kg
FCU-1 ※不使用(残置)	ファンコイルユニット	型式:天井埋込形 冷房能力:20,800kcal/h、暖房能力:36,430kcal/h、冷温水量:6.0L/min 吐出風量:4.200m ³ /h FAN:7.50W(1φ200V) 付属品:ワイヤ付、他付属品共	1	設置場所:1階女子便所(情報公開室用) 品番:SH-700H(木村工機) 設置年数:1989年 本体寸法:1150×1800×400H 参考重量:124kg

記号	名称	仕様・附属品	台数	備考
FCU-2 ※不使用(残置)	ファンコイルユニット	型式:天井埋込形 冷房能力:5,000kcal/h、暖房能力:6,400kcal/h、冷温水量:1.6L/min 吐出風量:1.320m ³ /h FAN:1.26W(1φ100V) 付属品:吹出口、吸込口、ワイヤ付、コトロ-スワイチ(ワイヤ付)、冷温水弁、ワイヤ付、小型電動二方弁組込、他付属品共	4	設置場所:1階事務室×1、1階場長室×1 1階第1生物実験室×2 品番:HSR-800K(木村工機) 設置年数:1989年 本体寸法:571×1510×216H 参考重量:39kg
FCU-3 ※不使用(残置)	ファンコイルユニット	型式:天井埋込形 冷房能力:3,750kcal/h、暖房能力:4,800kcal/h、冷温水量:1.2L/min 吐出風量:1.020m ³ /h FAN:9.4W(1φ100V) 付属品:吹出口、吸込口、ワイヤ付、コトロ-スワイチ(ワイヤ付)、冷温水弁、ワイヤ付、小型電動二方弁組込、他付属品共	2	設置場所:1階生物精密測定実験室×2 品番:HSR-600K(木村工機) 設置年数:1989年 本体寸法:571×1180×216H 参考重量:28kg
FCU-4 (撤去)	ファンコイルユニット	型式:天井形 冷房能力:5,000kcal/h、暖房能力:6,400kcal/h、冷温水量:1.6L/min 吐出風量:1.320m ³ /h FAN:1.26W(1φ100V) 付属品:ワイヤ付(ワイヤ付)、冷温水弁、ワイヤ付、小型電動二方弁組込、他付属品共	4	設置場所:1階生物実験前処理室×2 1階資源利用試験室(実験室)×2 品番:HS-800K(木村工機) 設置年数:1989年 本体寸法:550×1610×230H 参考重量:64kg
FCU-5 (撤去)	ファンコイルユニット	型式:天井形 冷房能力:3,750kcal/h、暖房能力:4,800kcal/h、冷温水量:1.2L/min 吐出風量:1.020m ³ /h FAN:9.8W(1φ100V) 付属品:ワイヤ付(ワイヤ付)、冷温水弁、ワイヤ付、小型電動二方弁組込、他付属品共	4	設置場所:1階資源利用試験室(実験室)×2 1階第2生物実験室×2 品番:HS-800K(木村工機) 設置年数:1989年 本体寸法:550×1280×230H 参考重量:38kg
FCU-6 (撤去)	ファンコイルユニット	型式:床置形 冷房能力:5,000kcal/h、暖房能力:6,400kcal/h、冷温水量:1.6L/min 吐出風量:1.120m ³ /h FAN:1.26W(1φ100V) 付属品:冷温水弁、ワイヤ付、小型電動二方弁組込、他付属品共	2	設置場所:2階海魚資源室×1 2階PCRルーム×1 品番:FS-800K(木村工機) 設置年数:1989年 本体寸法:230×1610×630H 参考重量:51kg
FCU-7 (撤去)	ファンコイルユニット	型式:床置形 冷房能力:3,750kcal/h、暖房能力:4,800kcal/h、冷温水量:1.2L/min 吐出風量:8.40m ³ /h FAN:9.8W(1φ100V) 付属品:冷温水弁、ワイヤ付、小型電動二方弁組込、他付属品共	6	設置場所:2階会議室×4、2階小会議室×2 品番:FS-600K(木村工機) 設置年数:1989年 本体寸法:230×1290×630H 参考重量:37kg
FCU-8 (撤去)	ファンコイルユニット	型式:床置形 冷房能力:2,500kcal/h、暖房能力:3,200kcal/h、冷温水量:8.0L/min 吐出風量:5.60m ³ /h FAN:6.1W(1φ100V) 付属品:冷温水弁、ワイヤ付、小型電動二方弁組込、他付属品共	2	設置場所:2階技術相談室×2 品番:FS-400K(木村工機) 設置年数:1989年 本体寸法:230×1170×630H 参考重量:33kg
FCU-9 (撤去)	ファンコイルユニット	型式:天井カセット 2方向吹出し形 冷房能力:5,000kcal/h、暖房能力:6,400kcal/h、冷温水量:1.6L/min 吐出風量:1.290m ³ /h FAN:1.65W(1φ100V) 付属品:ワイヤ付(ワイヤ付)、天井カセット、冷温水弁、ワイヤ付、小型電動二方弁組込、他付属品共	2	設置場所:2階化学実験室×2 品番:KCS-8010K(木村工機) 設置年数:1989年 本体寸法:515×1170×481H 参考重量:65kg



特記事項

※表中//は、撤去部を示す。
※(残置)表記部は、不要な機器を示しそのまま残置とする。
※既設機器能力は現場にて再確認し、機器表と異なる場合は、監督員へ報告すること。

空調機器表-2 (撤去)

Table with columns: 記号, 名称, 仕様・附属品, 台数, 備考. Contains details for various air conditioning units (HF-1, PAC-1K, PAC-2K, PAC-3K, PAC-4K, PAC-5K, RAC-1K) including their specifications and removal status.

Table titled '既設保温材質 凡例 (※図中特記を優先する。)' listing materials like SGF (White/Black), SGP (White/Black), and their applications for pipes and ducts.

※管種等は現場にて再調査のこと。

既設保温材質

Table listing insulation materials and their applications, such as 'グラスウール + アルミガラスクロス' for various parts of the building.

特記事項 (撤去共通)

※図中//は、撤去部を示す。
但し、壁内・RC内等の撤去不可能な配管は、そのままとする。
※図中 [] 範囲内は、別途将来工事とし、本工事には含まない。
※図中 [] は、既存機器撤去用の新設天井点検口(450×450)を示す。
既設天井材が石綿セメント板の箇所に天井点検口を新設する場合の天井材は、ケイカル板5t(EP塗り)とすること。
※図中 [] は、既設天井点検口(450×450)を示す。(図中「600」は、600×600を示す。)

アスベストについて

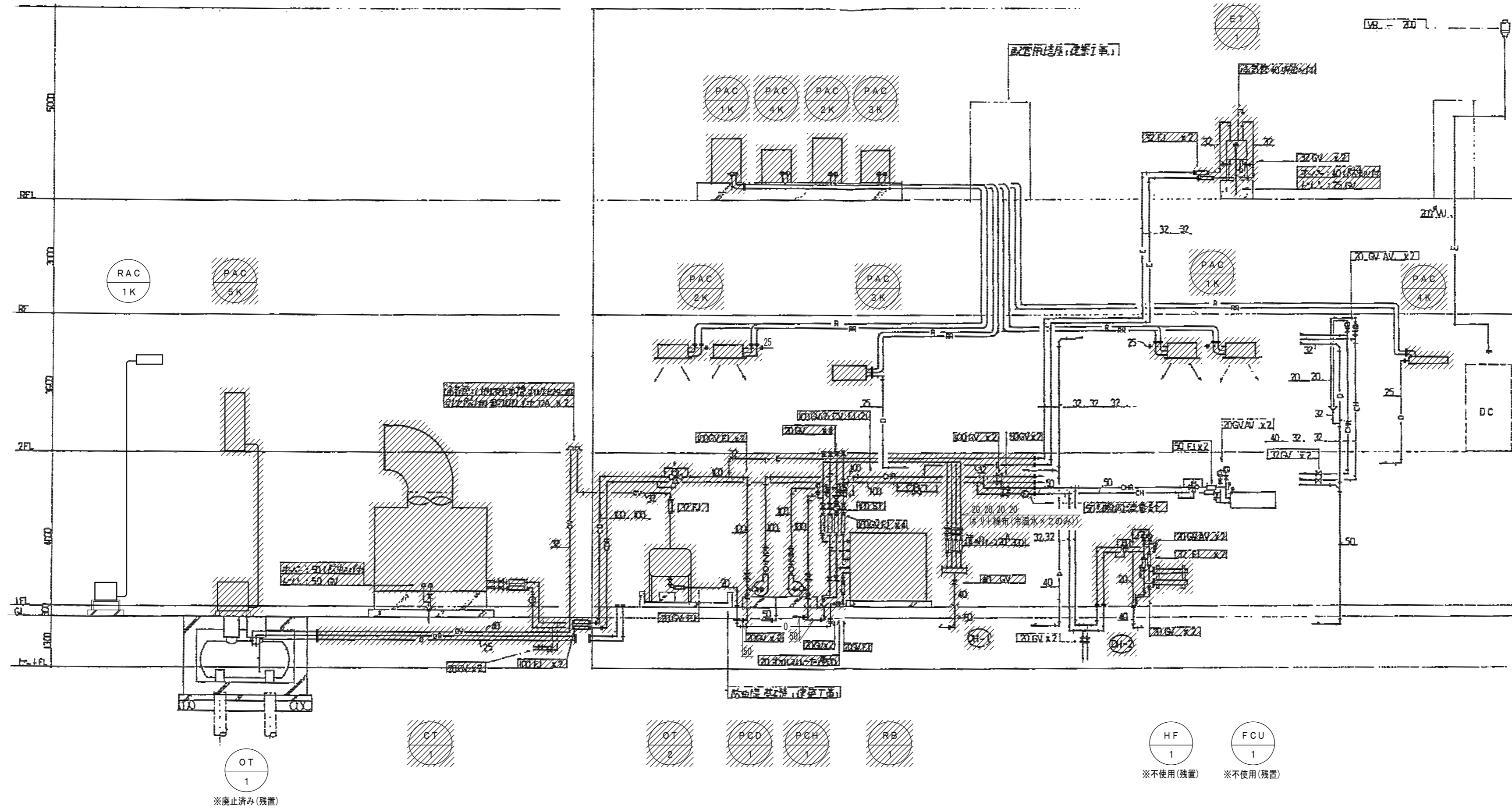
※RB-1の断熱材、排気筒取付ボルト用パッキン及び内部各所等にはアスベストが含まれている可能性が高いため、法令を遵守し適切に撤去すること。
※CT-1の内部各所(冷却水配管と本体接続フランジ周囲、散水配管と本体接続フランジ周囲、散水配管銅コイルとヘッダー接続部×3ヶ所、槽内鋼材接合部ボルト用パッキン×12ヶ所)にはアスベストが含まれているため、該当部分を切り離しの上、切り離し部をアスベスト含有物として法令を遵守し適切に撤去すること。
※PCH-1のグランドパッキンにはアスベストが含まれているため、法令を遵守し適切に撤去すること。(メーカーに確認済み)

冷媒管サイズ表

Table with columns: 記号, 液管, ガス管. Lists sizes for liquid and gas pipes for types A, B, and a.




※保温厚: 液管10mmt、ガス管10mmt (但し、液管9.5φ以下は8mmtとする。)

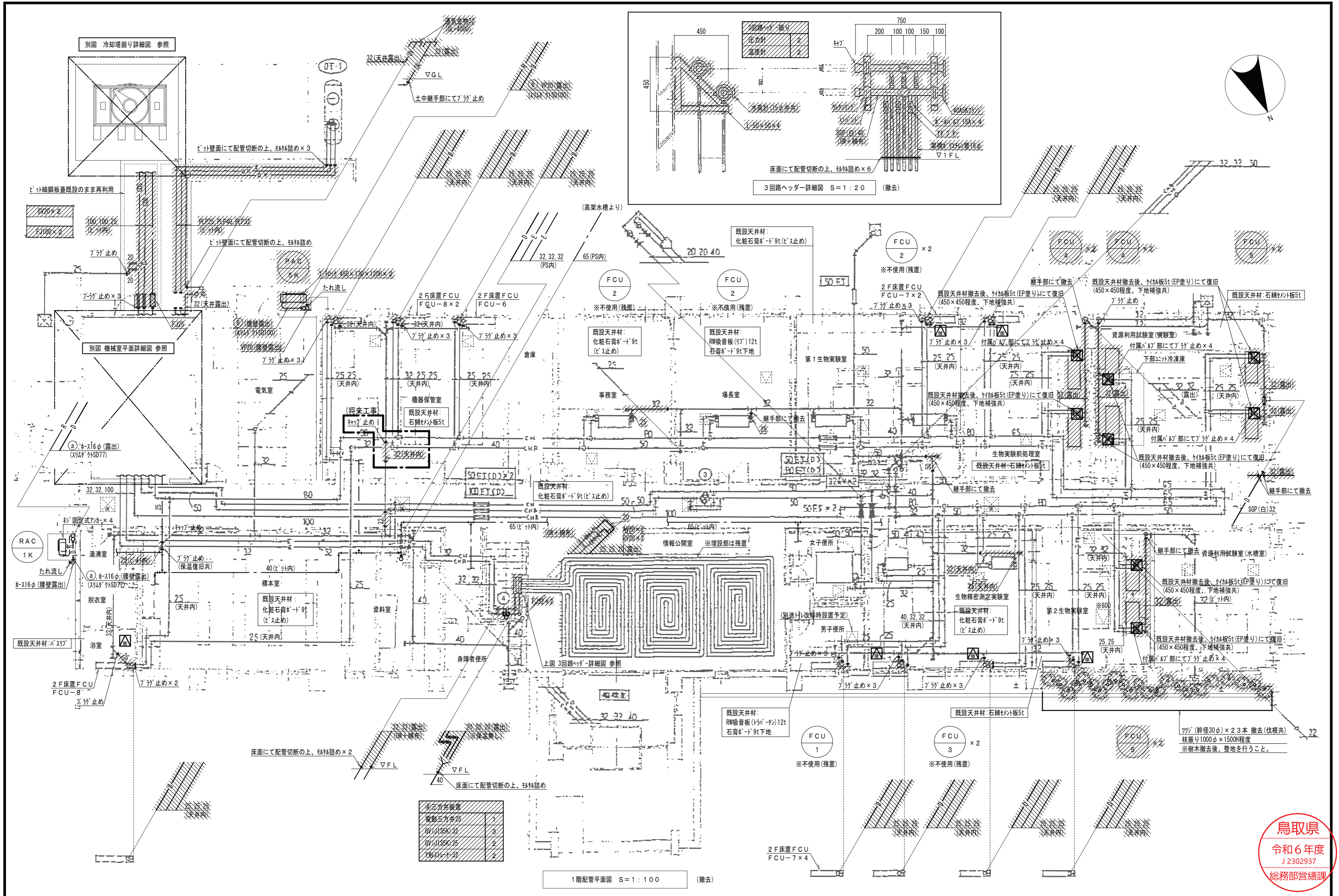




空調設備 配管系統図 No Scale (撤去)

鳥取県
令和6年度
J 2302937
総務部営繕課

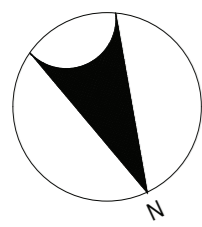
 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK	DRAWING	縮尺 A2: --	工事名称 水産試験場空調設備改修工事 (機械設備)	図面番号 M-13/22
	 	設計年月日 R6.09	図面名称 空調設備 配管系統図 (撤去)	NO	



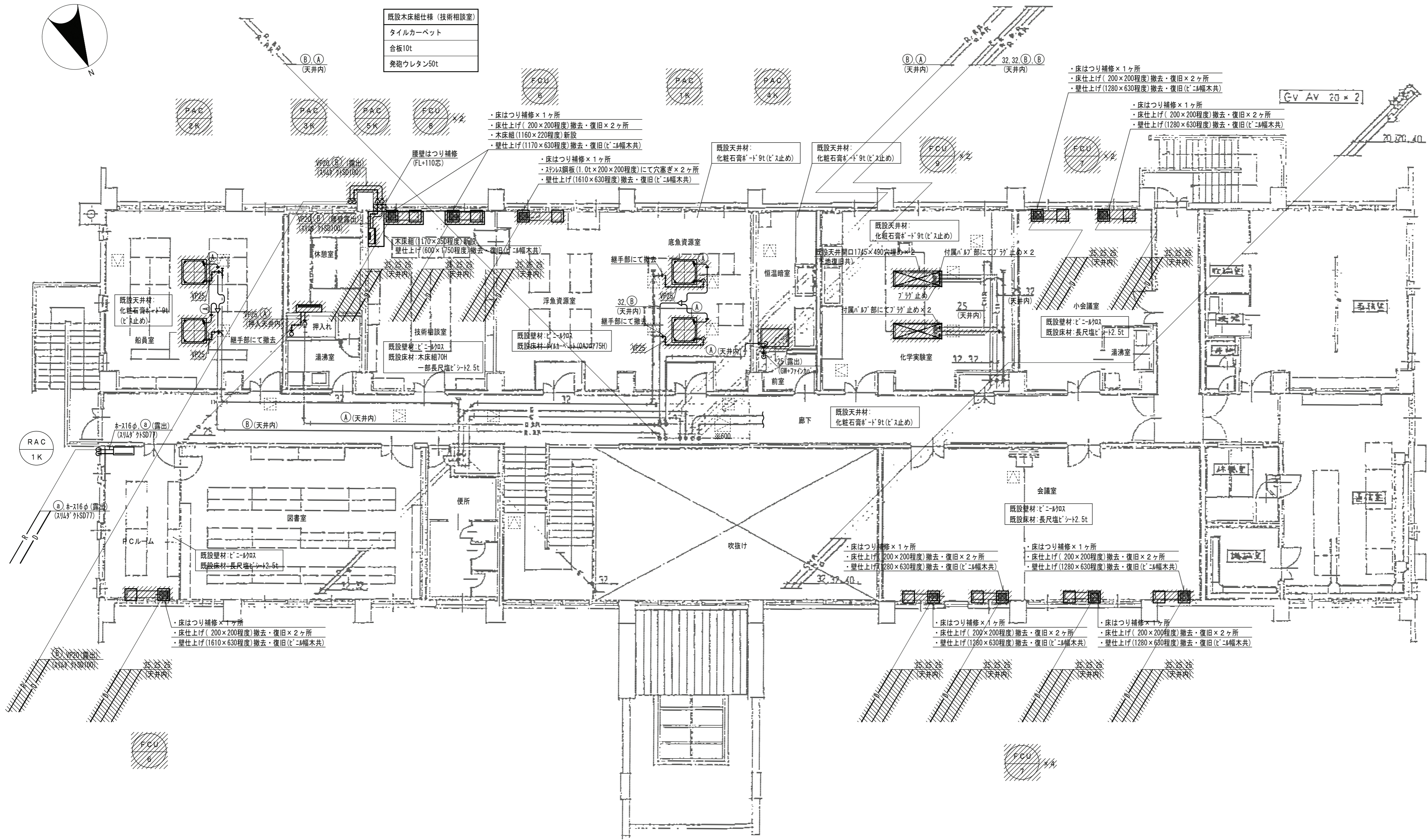
1階配管平面図 S=1:100 (撤去)

④三方弁装置	
電動三方弁	1
6V (JISK) 32	3
6V (JISK) 25	2
6V (JISK) 15	2

鳥取県
令和6年度
J2302937
総務部営繕課






既設木床組仕様 (技術相談室)
タイルカーペット
合板10t
発砲ウレタン50t

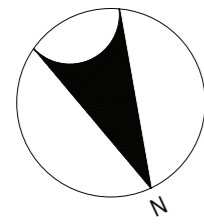


※木床組新設仕様は、既設相当以上とすること。

2階配管平面図 S=1:100 (撤去)

鳥取県
令和6年度
J2302937
総務部営繕課

 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK	DRAWING	縮尺	工事名称	図面番号
			A2: 1:100	水産試験場空調設備改修工事 (機械設備)	M-15
		設計年月日 R6.09	図面名称	空調設備 2階配管平面図 (撤去)	NO 22



②三方弁装置	
電動三方弁65	1
BV(JIS5K)100	3
BV(JIS5K)65	2
Y形バルブ100	1

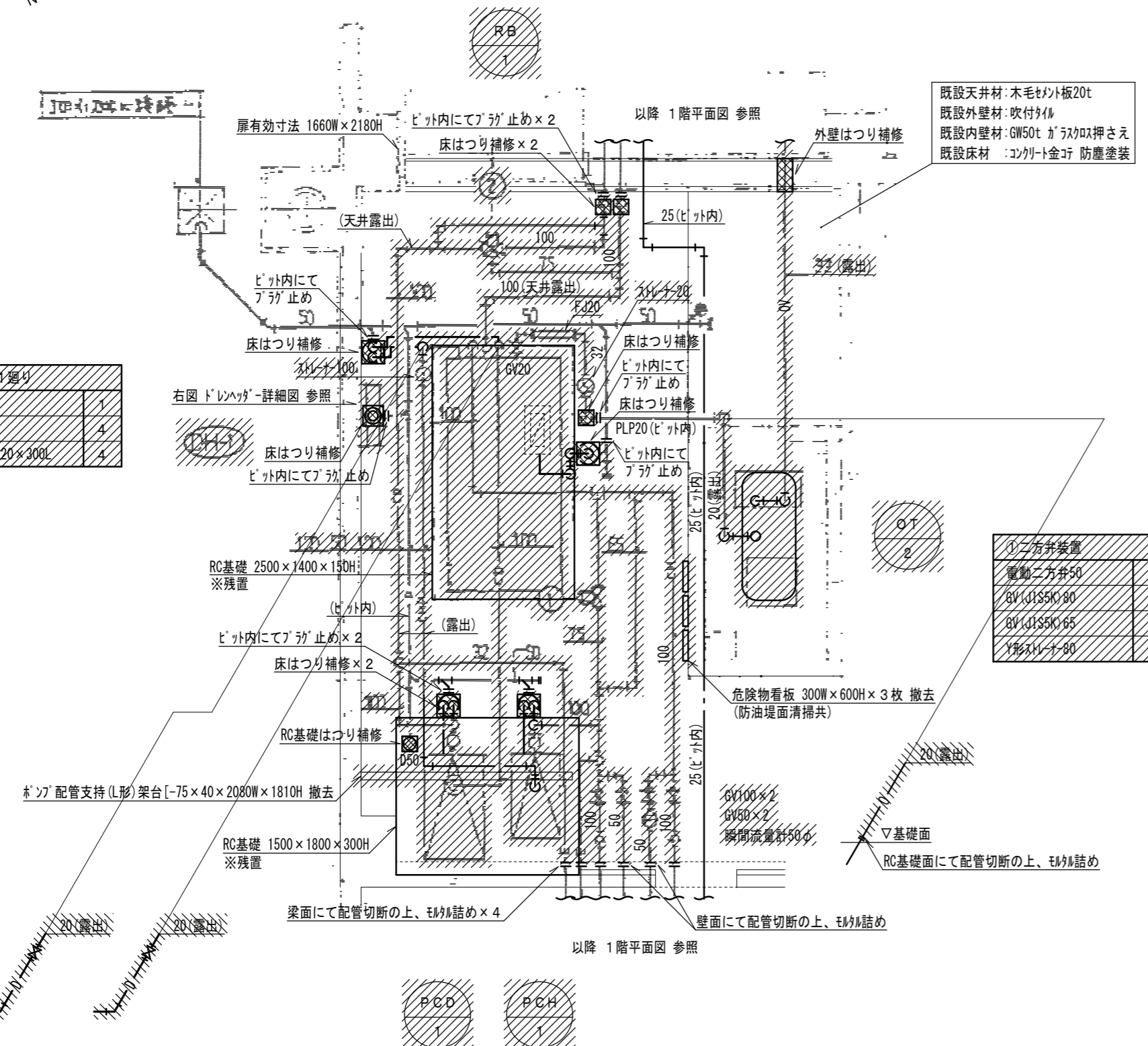
R.B-1種り	
BV100	4
BV20	6
FJ100	4
圧力計	4
温度計	4

D.H-1種り	
GV40	1
GV20	4
透明P-520×300L	4

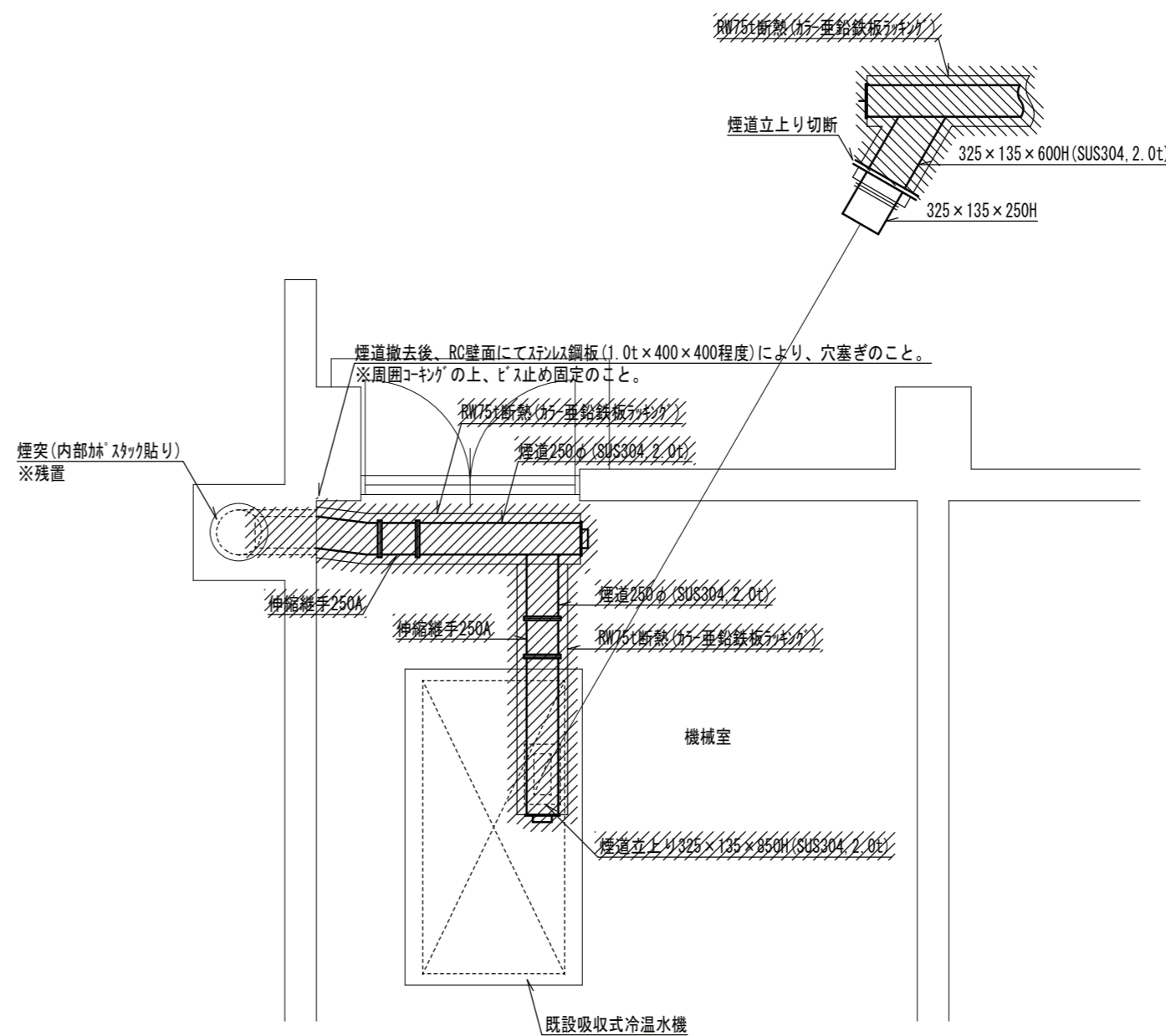
①三方弁装置	
電動三方弁50	1
BV(JIS5K)80	2
BV(JIS5K)65	1
Y形バルブ80	1

P.C.D-1種り	
FJ100(1/4製球型)	2
CV100	1
BV100	2
BV20	1

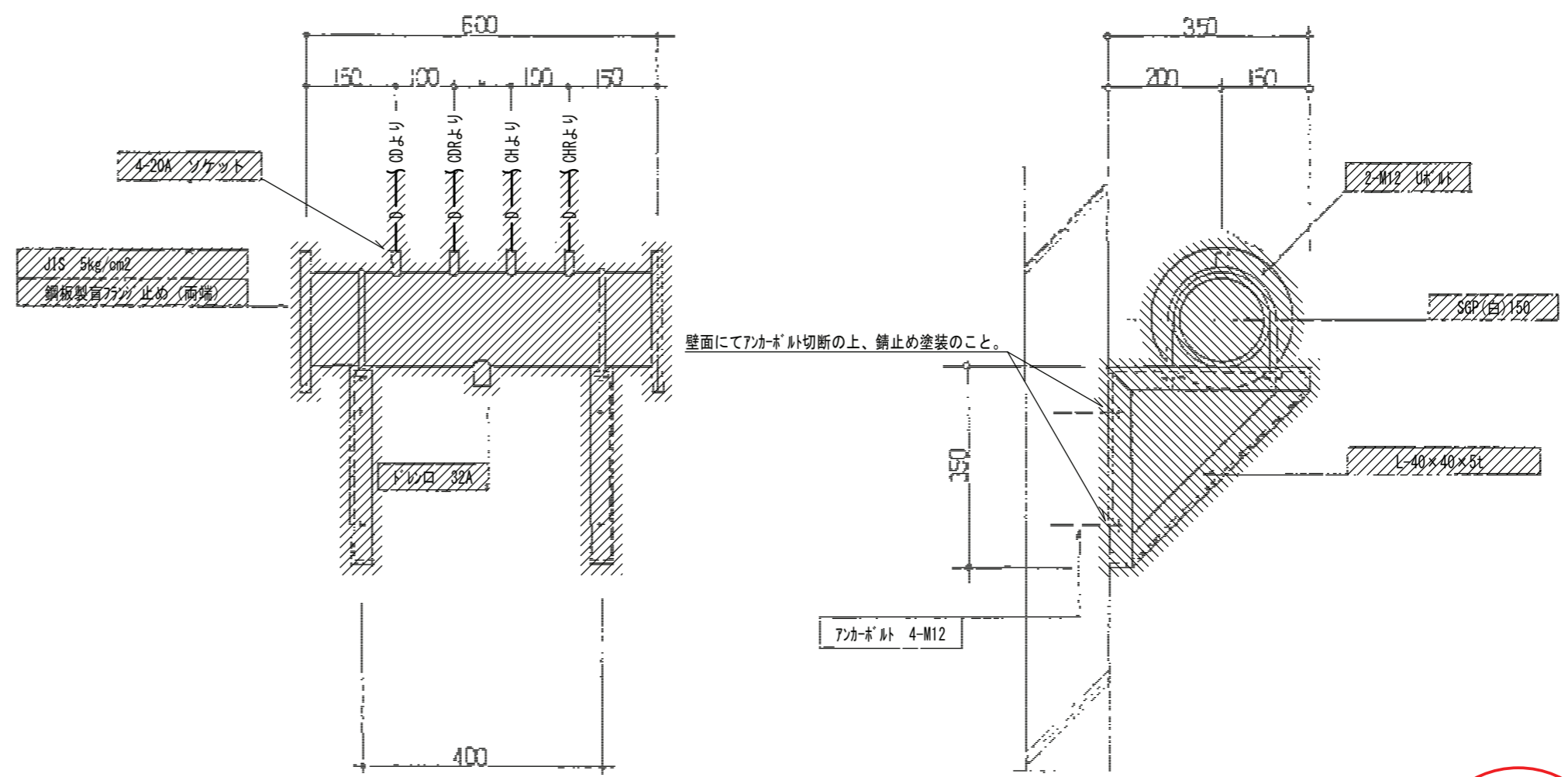
P.C.H-1種り	
FJ100(1/4製球型)	2
CV100	1
BV100	2
BV20	1



※床下はピット内配管。
機械室配管平面詳細図 S=1:50 (撤去)

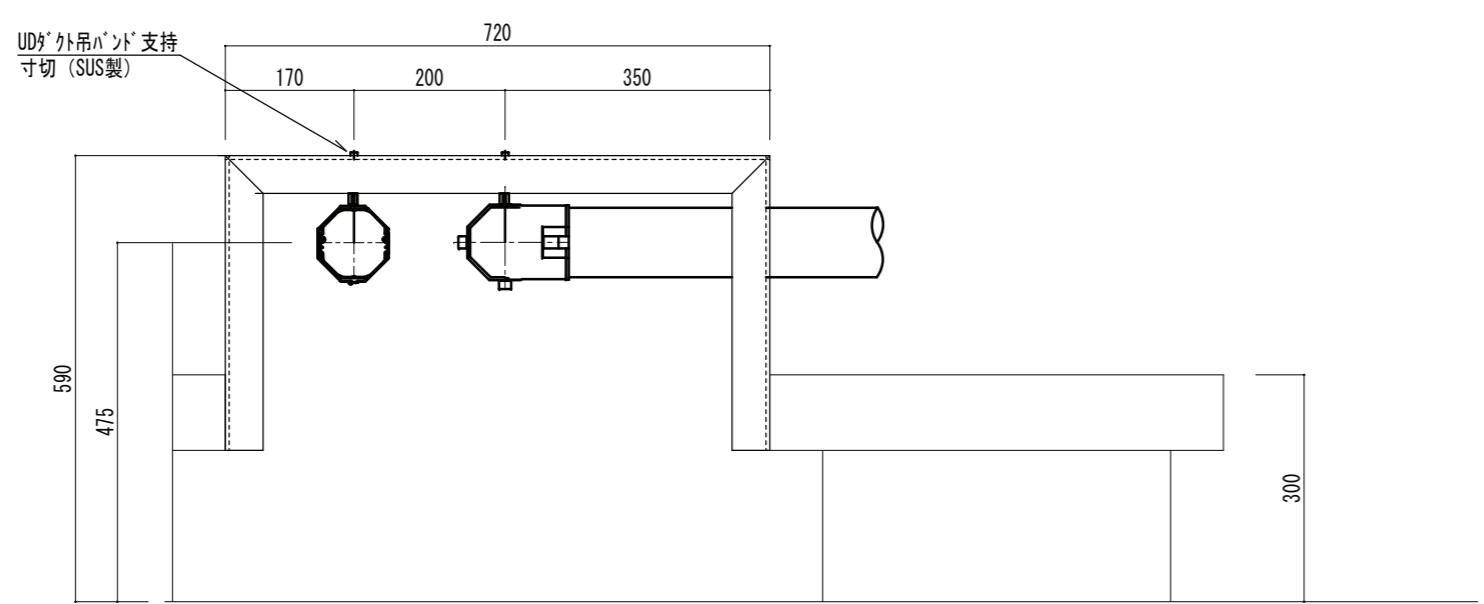


機械室煙道平面詳細図 S=1:50 (撤去)

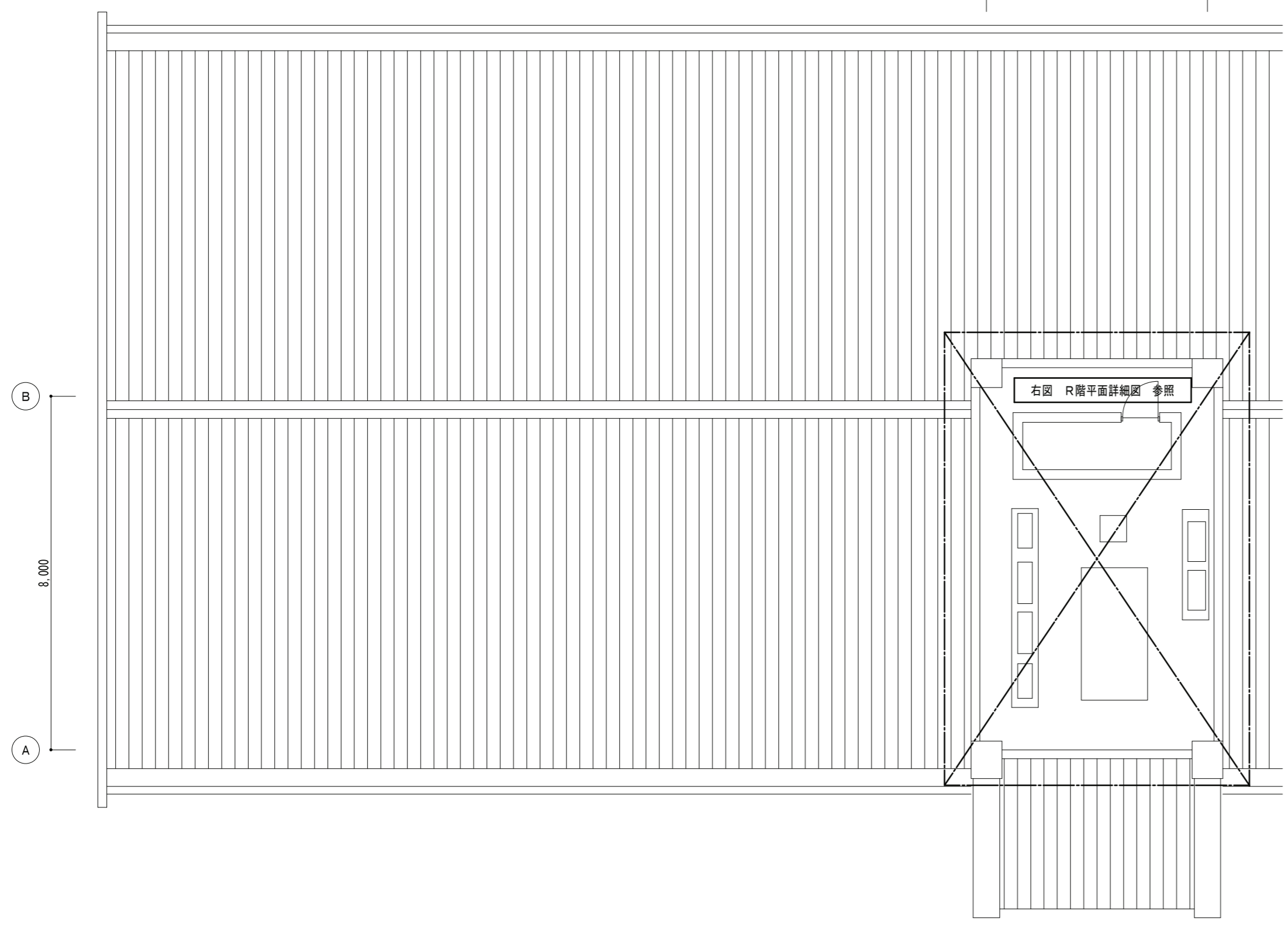
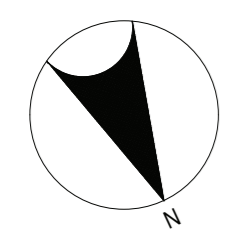


[D.H-1 1/4製球型 2種り 1/10]

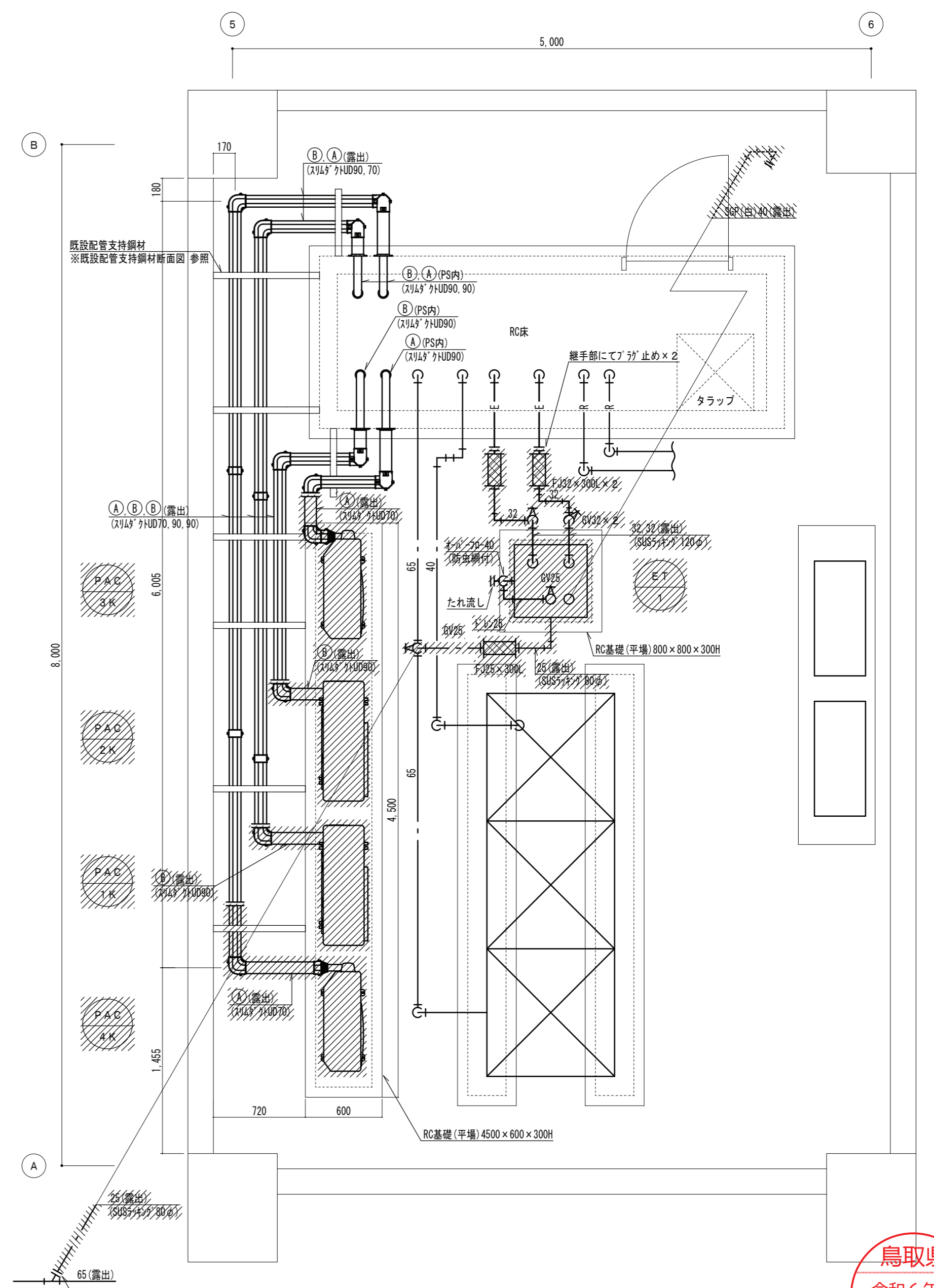
鳥取県
令和6年度
J2302937
総務部営繕課



既設配管支持鋼材断面図 S=1:10 (既設)





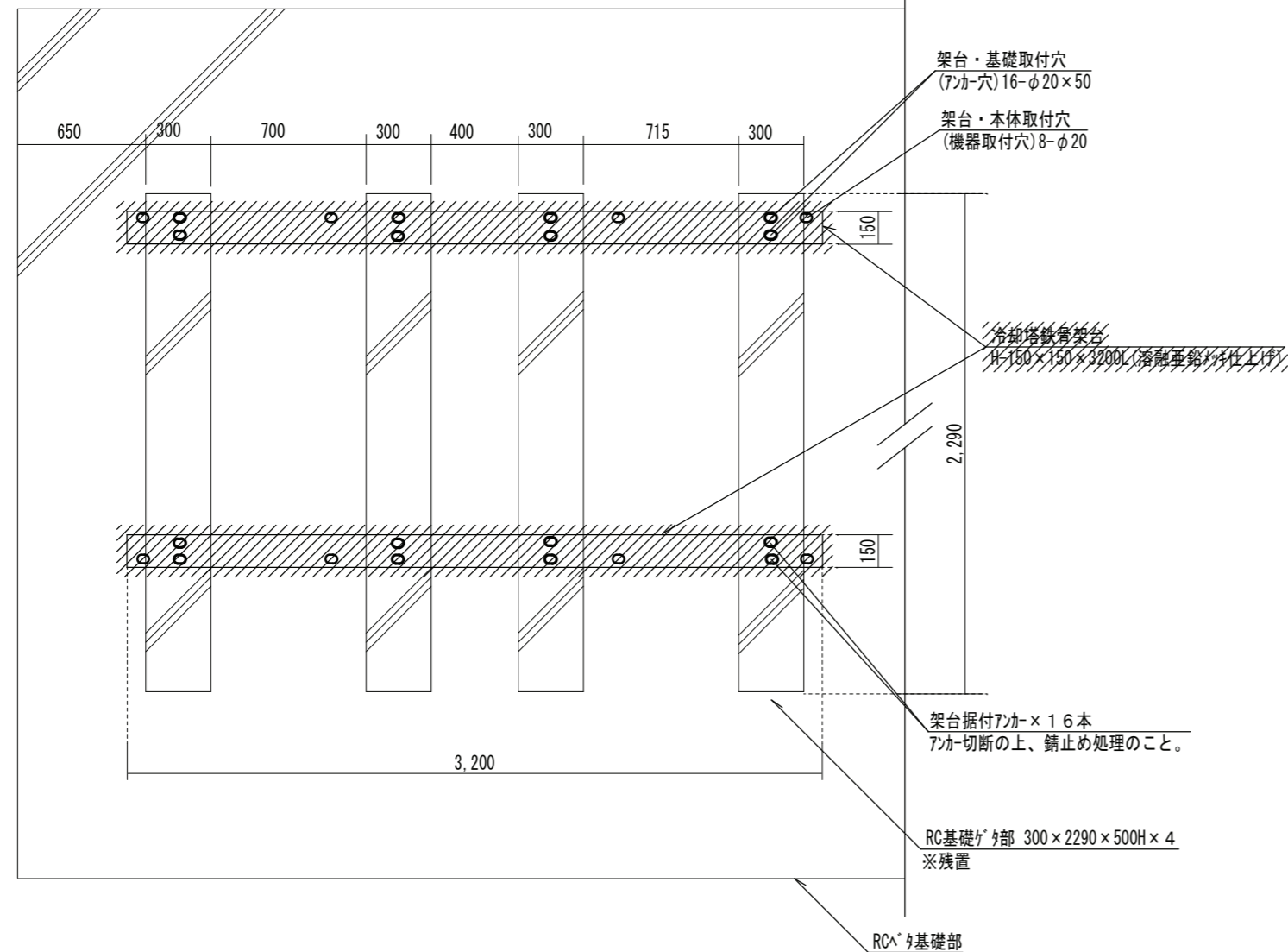
R階平面図 S=1:100 (撤去)



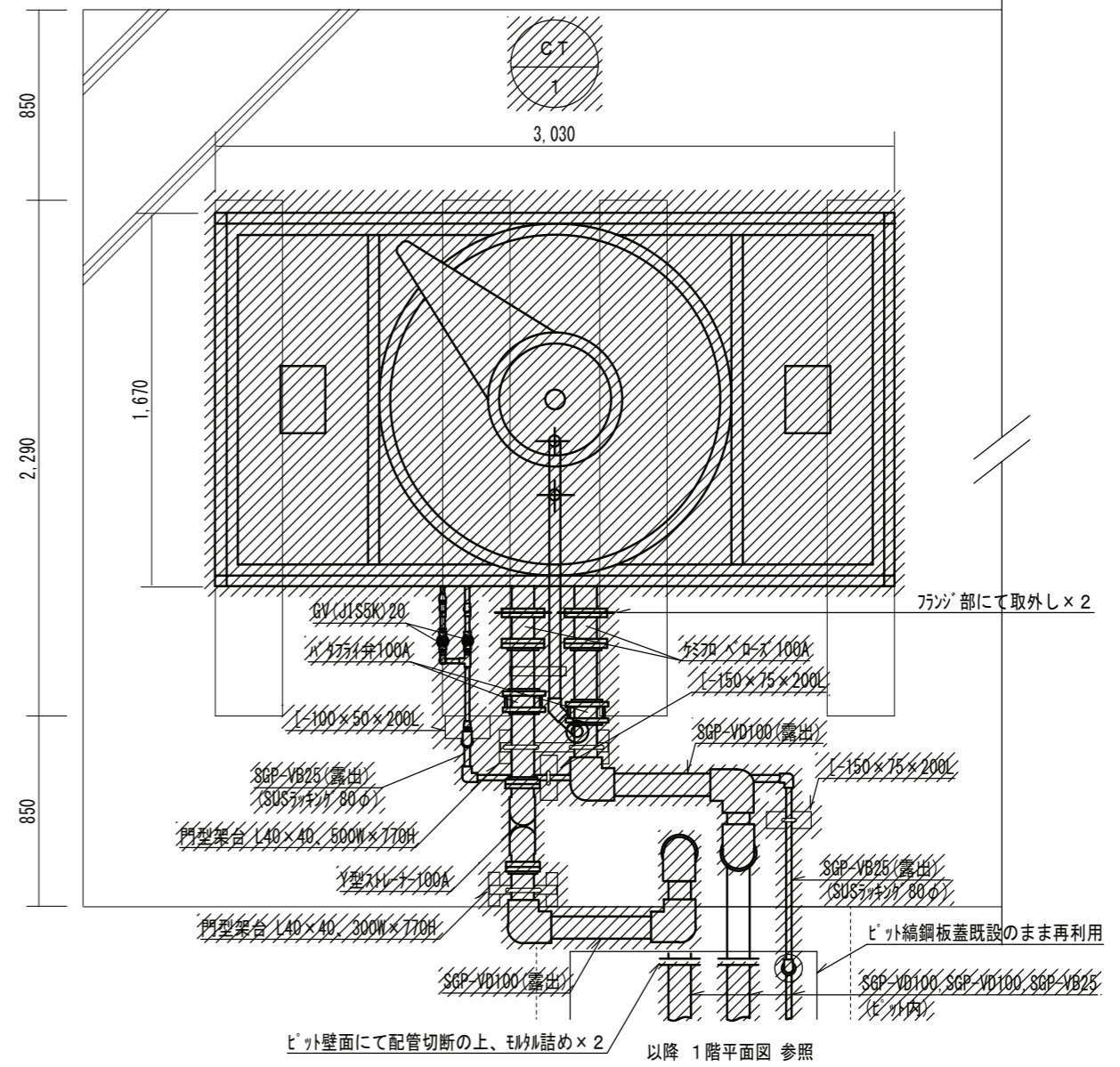
R階平面詳細図 S=1:30 (撤去)

鳥取県
令和6年度
J 2302937
総務部営繕課

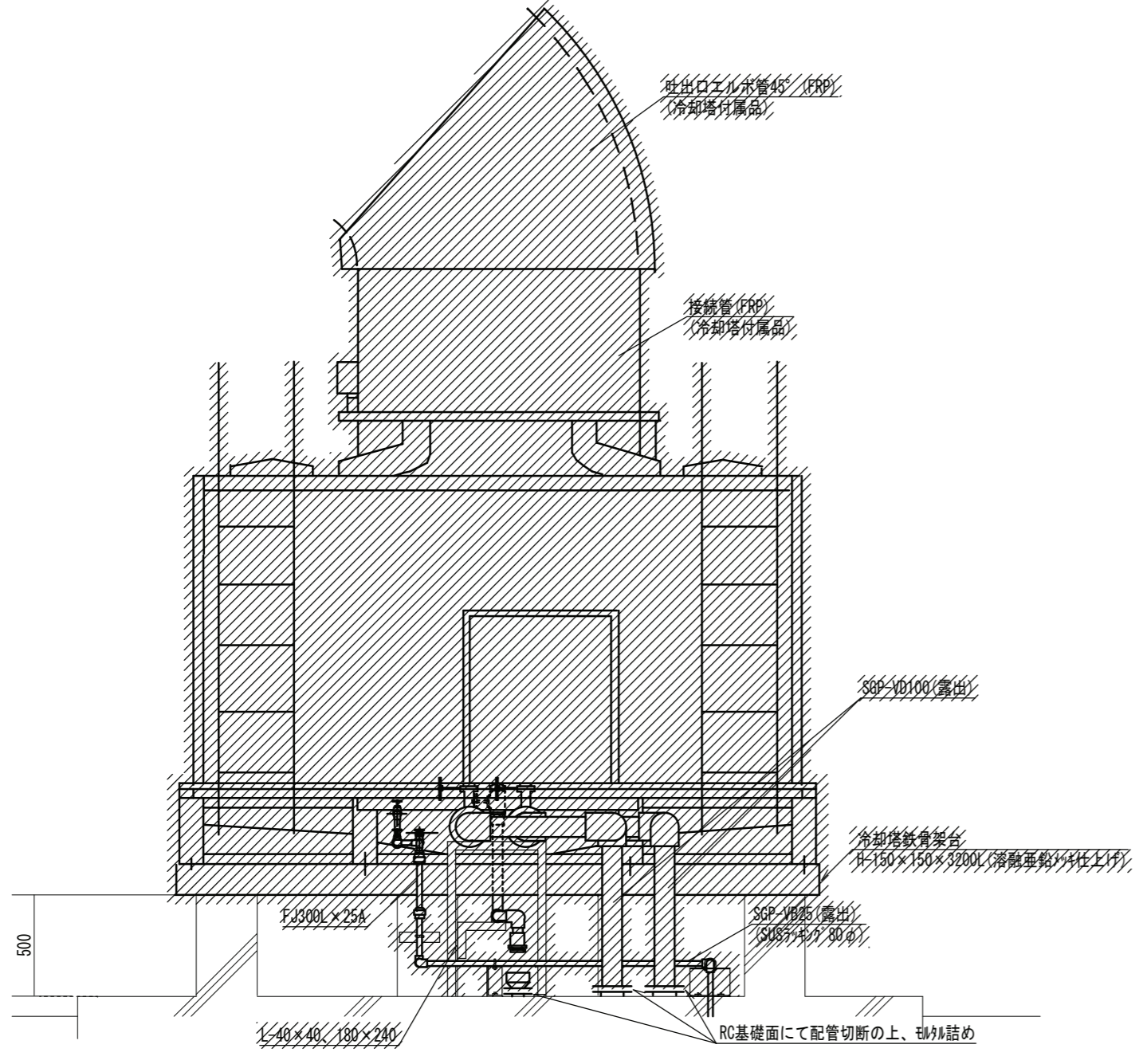
 有限会社 亀山設計 鳥取県米子市両三柳724番地11 一級建築士事務所 登録第05-1356号	CHECK 	DRAWING 	縮尺 A2: 1:30, 1:100 設計年月日 R6.09	工事名称 水産試験場空調設備改修工事 (機械設備) 図面名称 空調設備 R階平面図、R階平面詳細図 (撤去)	図面番号 M-17 22
	NO				



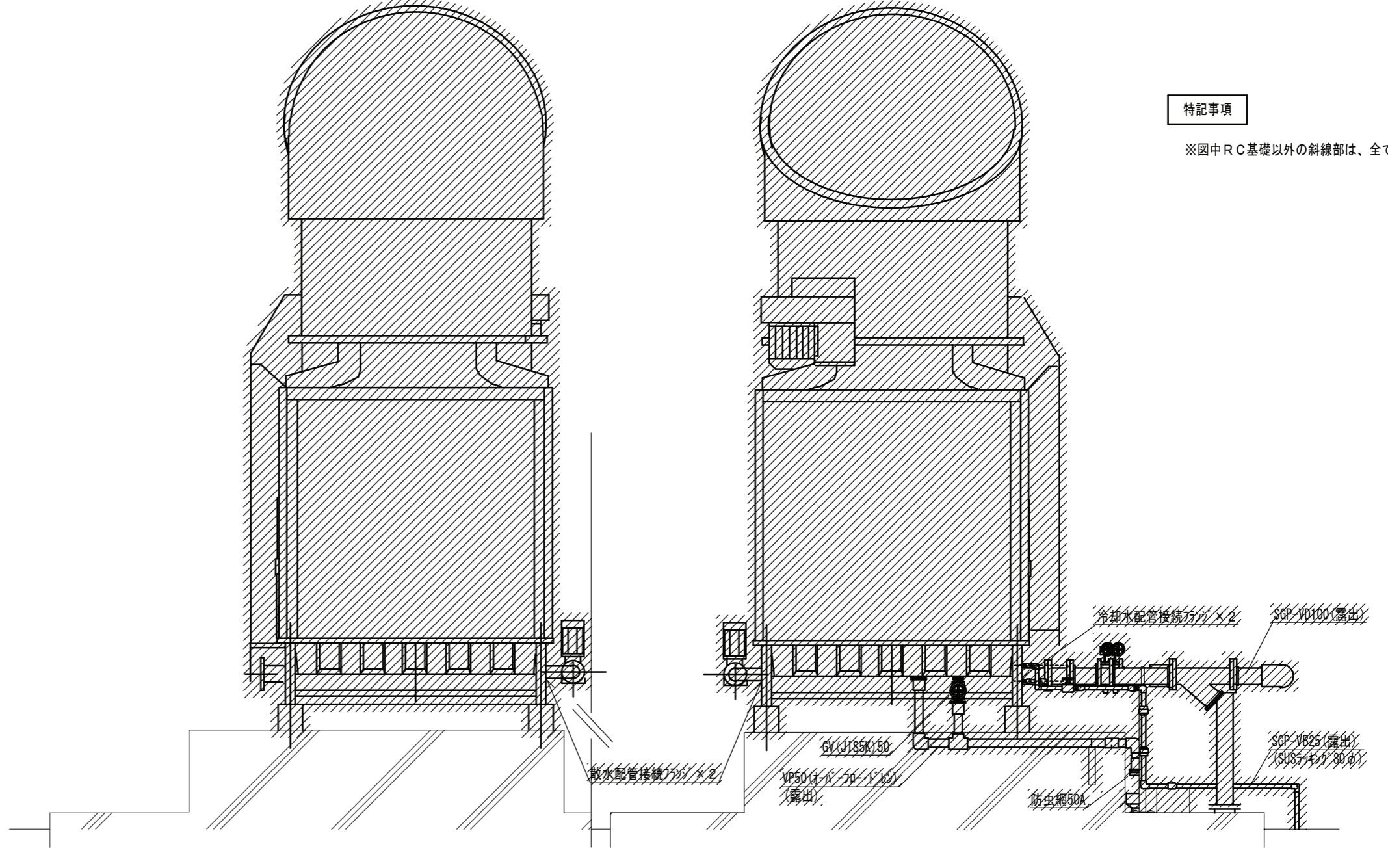
冷却塔架台詳細図 S=1:30 (撤去)



冷却塔廻り平面図 S=1:30 (撤去)

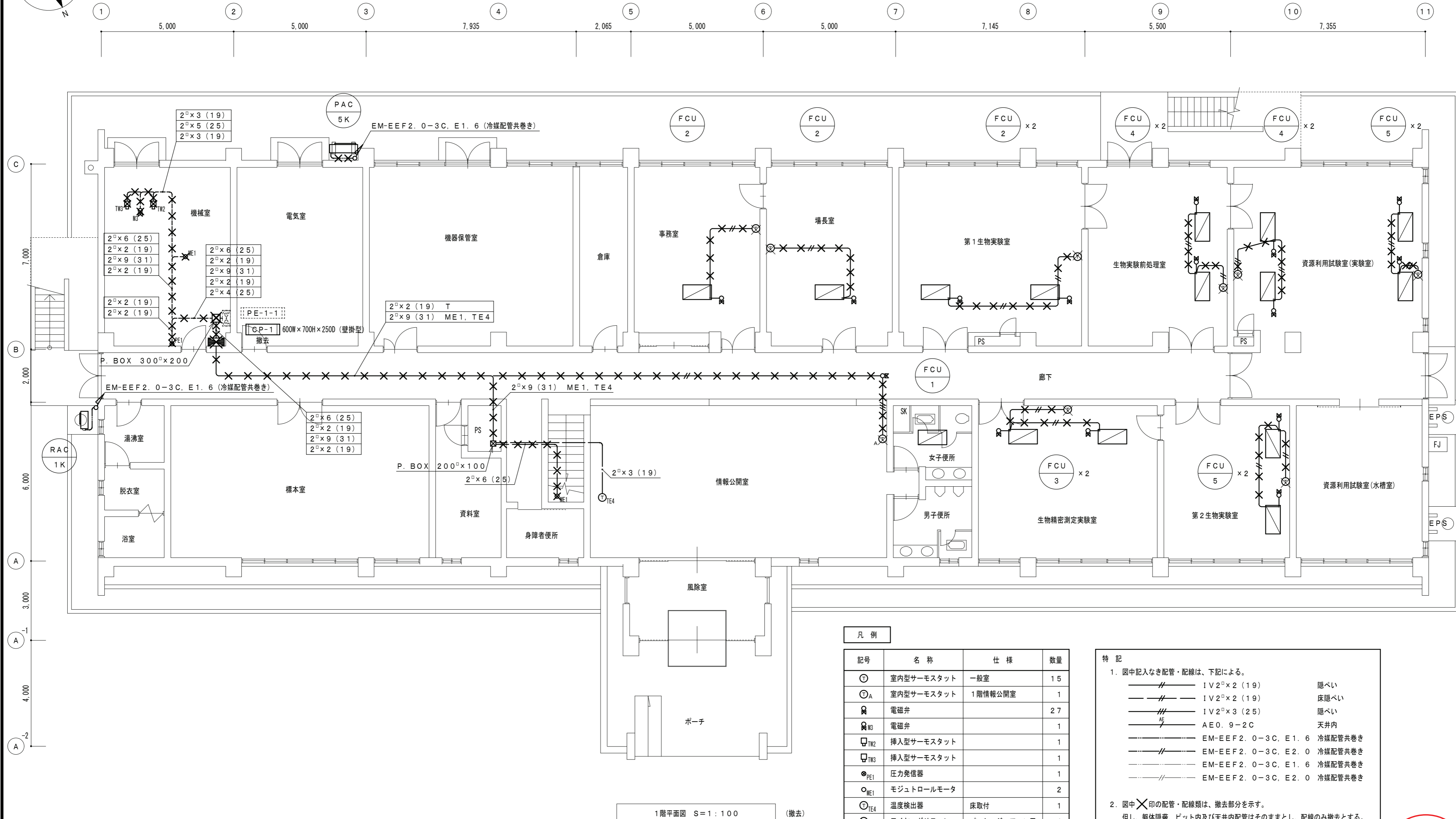
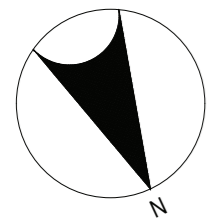


冷却塔廻り立面図-1 S=1:30 (撤去)



冷却塔廻り立面図-2 S=1:30 (撤去)

鳥取県
令和6年度
J2302937
総務部営繕課



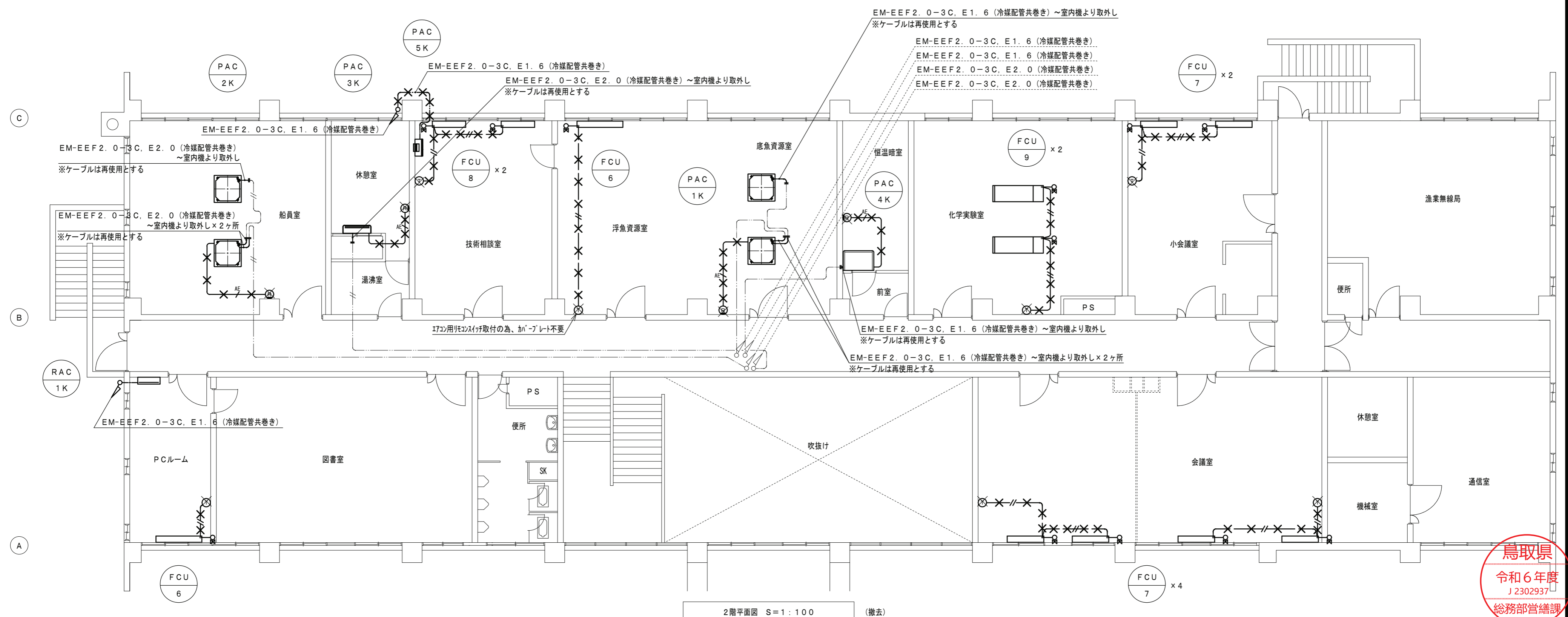
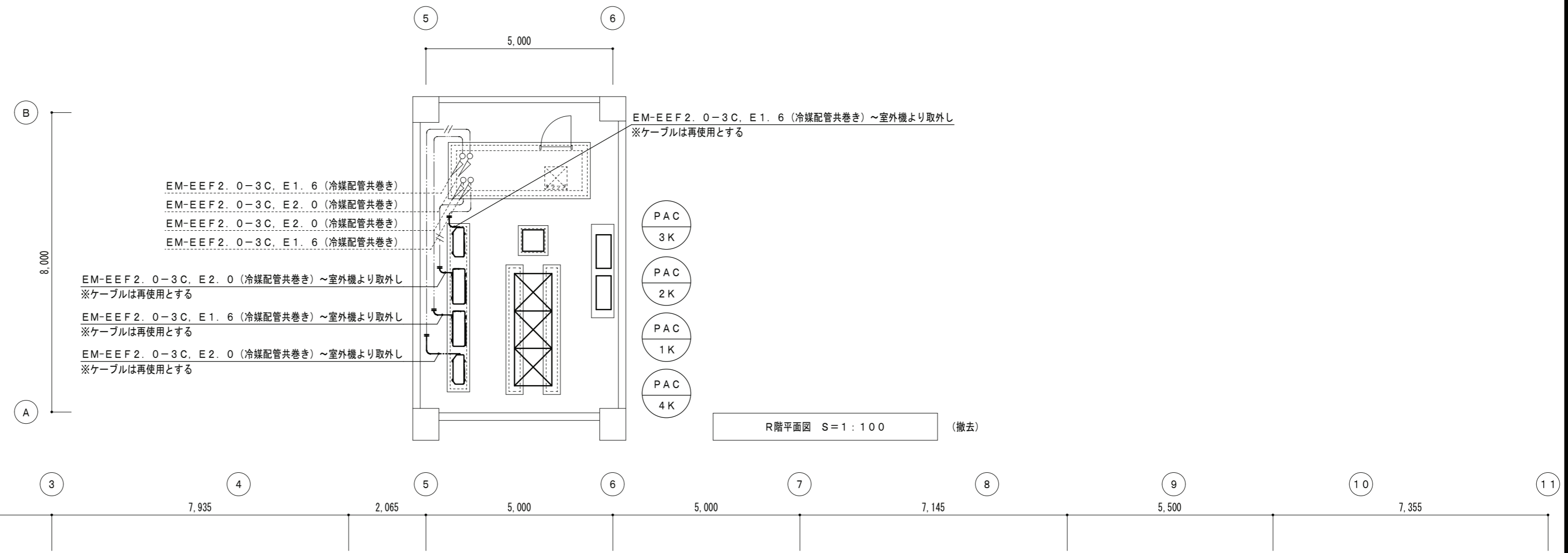
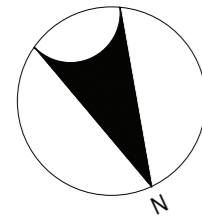
1階平面図 S=1:100 (撤去)

凡例			
記号	名称	仕様	数量
⊙	室内型サーモスタット	一般室	15
⊙A	室内型サーモスタット	1階情報公開室	1
⊙	電磁弁		27
⊙M3	電磁弁		1
⊙TW2	挿入型サーモスタット		1
⊙TW3	挿入型サーモスタット		1
⊙PE1	圧力発信器		1
⊙ME1	モジュロールモータ		2
⊙TE4	温度検出器	床取付	1
⊙	ワイヤードリモコン	パッケージエアコン用	4

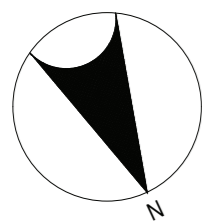
特記

1. 图中記入なき配管・配線は、下記による。
 // 1V2^φ×2 (19) 隠ぺい
 // 1V2^φ×2 (19) 床隠ぺい
 // 1V2^φ×3 (25) 隠ぺい
 AE 0.9-2C 天井内
 EM-EEF2.0-3C, E1.6 冷媒配管共巻き
 EM-EEF2.0-3C, E2.0 冷媒配管共巻き
 EM-EEF2.0-3C, E1.6 冷媒配管共巻き
 EM-EEF2.0-3C, E2.0 冷媒配管共巻き
2. 图中×印の配管・配線は、撤去部分を示す。
 但し、躯体隠蔽、ビット内及び天井内配管はそのままとし、配線のみ撤去とする。
3. 室内型サーモスタット撤去後は、カバープレート（金属製）を取り付けること。
 一般室（图中⊙印）は3個用、1階情報公開室（图中⊙A印）は2個用とする。
4. 既存施設を使用しながらの工事である為、騒音・粉塵等に十分配慮し、既設設備を十分確認して施工すること。

鳥取県
令和6年度
J2302937
総務部営繕課



鳥取県
令和6年度
J2302937
総務部営繕課



電子室	EA	1400 m ³ /h
	VS	400 × 250 × 2
	BOX	600 × 450 × 300H × 2

電気室	OA	2160 m ³ /h
	VHS	600 × 500
	BOX	800 × 700 × 500H

茶1生体実験室	EA	670 m ³ /h
	VS	300 × 250 × 2
	BOX	500 × 450 × 350H × 2
	GW	25 mm 肉厚5H

生体実験室(別棟)	EA	530 m ³ /h
	VS	250 × 250 × 2
	BOX	450 × 450 × 350H × 2
	GW	25 mm 肉厚5H

資源利用試験室(東棟)	EA	920 m ³ /h
	VS	350 × 300 × 2
	BOX	550 × 500 × 400H × 2
	GW	25 mm 肉厚5H

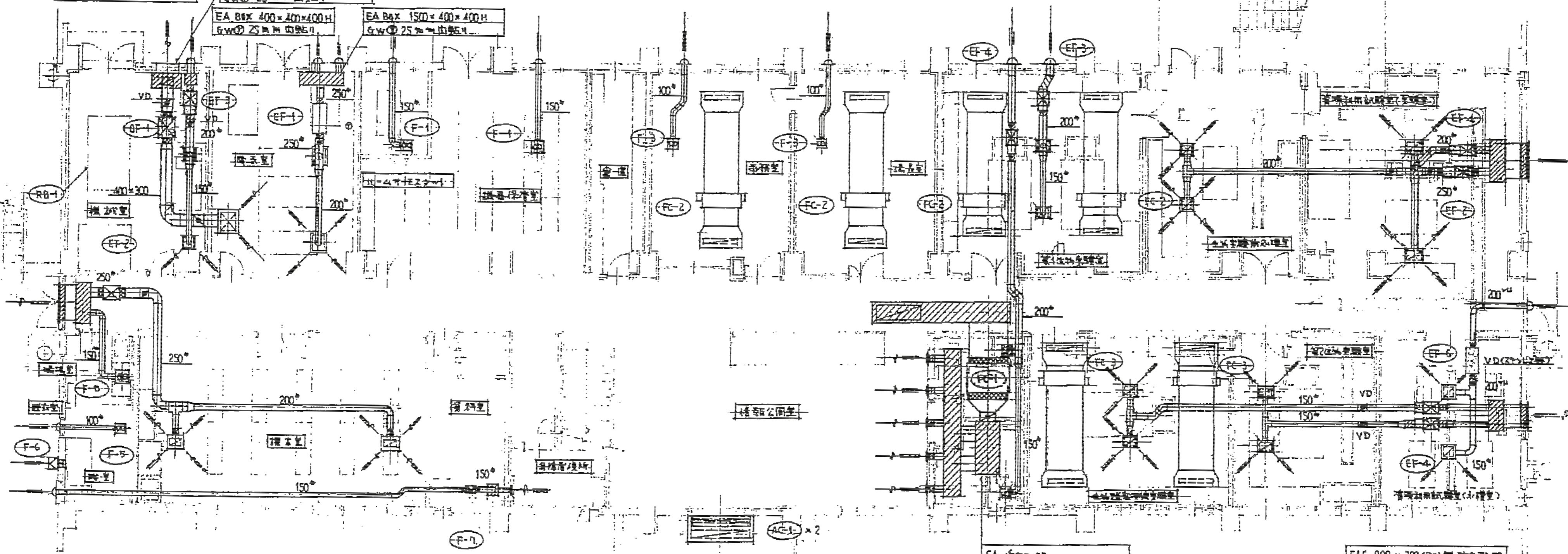
EAG	1200 × 300 (7H型防炎72H)
BOX	1400 × 500 × 500H
GW	25 mm 肉厚5H

標準室	EA	670 m ³ /h
	VS	250 × 200 × 2
	BOX	450 × 400 × 300 × 2

OAG	800 × 500 (防炎72H)
(7H型) BOX	1000 × 500 × 700H
GW	25 mm 肉厚5H

EA BOX	400 × 400 × 400H
GW	25 mm 肉厚5H

EA BOX	1500 × 400 × 400H
GW	25 mm 肉厚5H



EAG	1200 × 300 (7H型防炎72H)
BOX	1400 × 500 × 500H
GW	25 mm 肉厚5H

標準室	EA	980 m ³ /h
	VS	400 × 250 × 2
	BOX	600 × 450 × 400 × 2
	GW	25 mm 肉厚5H

基礎台便所	EA	170 m ³ /h
	VS	200 × 150
	BOX	400 × 350 × 350H
	GW	25 mm 肉厚5H

エア・カーテン用ホウキ	2200 × 900 × 500H
VS	2000 × 400
GW	25 mm 肉厚5H
H	2000 × 130

標準公開室	SA	3900 m ³ /h
	VS	FN型 No.10 × 5
	BOX	5000 × 600 × 500H
	GW	50 mm 肉厚5H
RA	3900 m ³ /h	
2H型1500 × 500 (54)		
7H型1500 × 500 (54)		
BOX	4800 × 700 × 450H	
GW	50 mm 肉厚5H	
7H型1500 × 500 × 300H × 2		

生体実験室(別棟)	EA	570 m ³ /h
	VS	250 × 250 × 2
	BOX	450 × 450 × 350H × 2
	GW	25 mm 肉厚5H

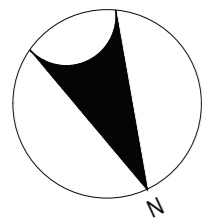
茶2生体実験室	EA	420 m ³ /h
	VS	250 × 200 × 2
	BOX	450 × 400 × 350H × 2
	GW	25 mm 肉厚5H

便所 (兼用)	EA	230 m ³ /h × 2
	VS	200 × 150 × 2
	BOX	400 × 350 × 300H × 2
	GW	25 mm 肉厚5H

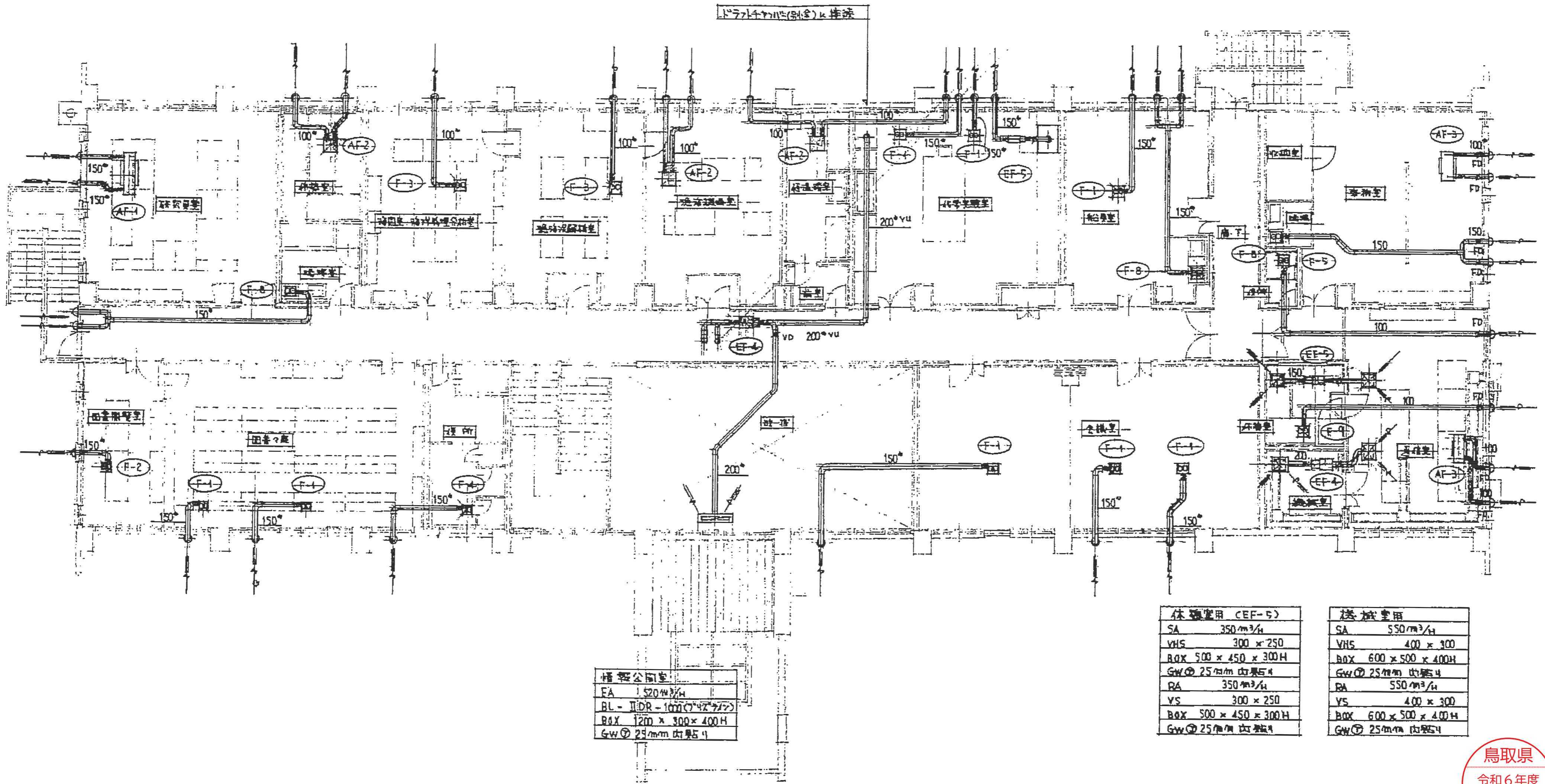
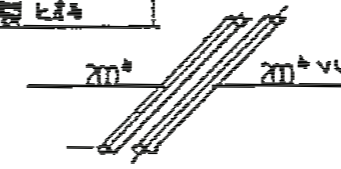
資源利用試験室(別棟)	EA	420 m ³ /h
	VS	250 × 200 × 2
	BOX	450 × 400 × 350 × 2
	GW	25 mm 肉厚5H

1階ダクト平面図 S=1:100 (既設参考)





化学実験室
ステンレスフード
1000 x 600 (SUS304 1.0)
ドレコック 10" x 4
化粧板 AF H=900
排水パイプはVU製仕様



播磨公園室
FA 1.520m ³ /h
BL - II:DR - 1000(7'4" x 7'7")
BOX 1200 x 300 x 400H
GWφ 25mm 出果5ヶ

休室専用 (CE-5)
SA 350m ³ /h
VHS 300 x 250
BOX 500 x 450 x 300H
GWφ 25mm 出果5ヶ
RA 350m ³ /h
VS 300 x 250
BOX 500 x 450 x 300H
GWφ 25mm 出果5ヶ

送風専用
SA 550m ³ /h
VHS 400 x 300
BOX 600 x 500 x 400H
GWφ 25mm 出果4ヶ
RA 550m ³ /h
VS 400 x 300
BOX 600 x 500 x 400H
GWφ 25mm 出果4ヶ

2階ダクト平面図 S=1:100

(既設参考)

鳥取県
令和6年度
J 2302937
総務部営繕課



有限会社 亀山設計
鳥取県米子市両三柳724番地11
一級建築士事務所 登録第05-1356号



CHECK
DRAWING
縮尺 A2: 1:100
設計年月日 R6.09

工事名称 水産試験場空調設備改修工事(機械設備)
図面名称 空調設備 2階ダクト平面図(既設参考)

図面番号 M-22/22